

授業科目名	保育の発達心理学					科目コード	E2101
担当者	加藤 弘美					履修区分	選択
開講年次	1 年	開講期	後期	授業回数	15 回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要)							
保育実践に関わる発達理論等の心理学的知識をふまえ、子どもの発達を捉える視点を習得し、乳幼児期の子どもの学びの過程や特性、発達に即した援助、保育における人との相互的関わりや体験、環境の意義を理解する。 また、生涯発達の観点から発達のプロセスや初期経験の重要性について学び、幼児期の養育環境について考察を深める。							
(到達目標)							
各年齢の子どもの発達特徴を理解する。子どもの発達の理解を踏まえた、保育者の関わりかたを習得して、今後子どもたちに出会ったときに実践しながら深めていく力をつける。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
スマートフォンの使用、居眠り、私語等の迷惑行為は禁止します。また、授業に必要なものは、机の上に置かないでください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	保育所・幼稚園・こども園における子育て支援						
2	子どもの発達を理解するとは						
3	発達理解の視点と心理学の諸理論						
4	保育者として～子ども理解の方法						
5	子どもの発達と環境						
6	子どもの発達と遊び						
7	子どもの発達と学び(認知の発達)						
8	子どもの発達と社会的相互作用(社会性の発達)						
9	発達のプロセス～ 0 歳児の発達						
10	発達のプロセス～ 1 歳児の発達						
11	発達のプロセス～ 2 歳児の発達						
12	発達のプロセス～ 3 歳児の発達						
13	発達のプロセス～ 4 歳児の発達						
14	発達のプロセス～ 5 歳児の発達						
15	小学校との連携、授業のまとめ						
成績評価方法							
試験 60%、レポート 40%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
新・育ちあう乳幼児心理学		心理科学研究会		有斐閣コンパクト		978-4-641-17451-1	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
配布資料は、ファイリングして管理しましょう。授業後に講義レジメや資料、ノートを読みかえしてみてください。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
メールあるいは、オフィスパワーに訪問してください。							

授業科目名		子ども家庭支援の心理学				科目コード	E2102
担当者		加藤 弘美				履修区分	選択
開講年次	2年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要)							
生涯発達を見据えて、初期経験の重要性について学び、乳幼児期における親子関係の形成と基本的信頼感の獲得について理解する。子どもが人との相互的関わりを通して発達していくことを踏まえ、発達初期の養育環境について考察を深める。また、子どもの発達にとって重要な役割を果たす家族・家庭について学び、家族の定義や機能の変化、子育て家庭の現状と課題について理解し、家庭を支援していくための知見を習得する。							
(到達目標)							
・親子関係や家族関係について、発達の観点から理解できる							
・家族の捉え方を習得し、子育て家庭をめぐる社会状況と課題について理解できる							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
スマートフォンの使用、居眠り、私語等の迷惑行為は禁止します。また、授業に必要なものは、机の上に置かないでください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	人間発達における初期経験						
2	親子関係の起源						
3	親子の相互作用と子どもの発達						
4	親子の相互作用と愛着形成						
5	家族の発達を捉える視点						
6	生涯発達と家族システム論						
7	家族の発達(1)新婚期にかけて						
8	家族の発達(2)子どもの誕生から学童期						
9	家族の発達(3)子どもの独立から家族の収束期						
10	親としての発達						
11	家族の定義と機能						
12	子育て家庭の現状と課題(1)子育てを取り巻く社会状況と課題						
13	子育て家庭の現状と課題(2)家族のライフコースと仕事・子育て						
14	子育て家庭の現状と課題(3)多様な家庭とその理解						
15	子どもの精神保健とその課題						
成績評価方法							
期末試験(70%) 授業内提出物(30%)							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
子ども家庭支援の心理学		白川佳子・福丸由佳		中央法規		978-4805857892	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
毎回の授業後、配布資料やノートを読みかえしてみてください。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
メールあるいは、オフィスパワーに訪問してください。							

授業科目名		子どもの理解と援助				科目コード	E2103
担当者		権田 あずさ				履修区分	選択
開講年次	3年	開講期	前期	授業回数	8回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要)遊びや学びの姿、子ども相互の関わりなどの姿などが描かれた保育記録を読み合い、子ども一人ひとりの内面を理解するとともに、保育士の援助のあり方や関わり方を検討する。また、実際の保育記録の作成に取り組む。							
(到達目標)							
① 保育実践において、実態に応じた子ども一人一人の心身の発達や学びを把握することの意義について理解できる。							
② 子どもの体験や学びの過程において、子どもを理解する上での基本的な考え方を理解できる。							
③ 子どもを理解するための具体的な方法を理解できる。							
④ 子どもの理解に基づく保育士の援助や態度の基本について理解できる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
・卒業要件としては選択科目ですが、保育士資格の取得をめざす人にとっては、必修科目です。							
・実習やボランティアなど、これまでの子どもと関わった経験を思い起こしておきましょう。(実習日誌や記録物がある人は、持参しましょう。)また、カメラやノートパソコンがある人は持参しましょう。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	ガイダンス / 保育における子ども理解の意義 ― 子どもを理解するとは						
2	保育記録から読み解く、子どもの育ちの様子(1)― 葛藤やつまずき						
3	保育記録から読み解く、子どもの育ちの様子(2)― 人との関わり						
4	子どもの発達に応じた援助や関わりの実践						
5	子ども理解の方法としてのエピソード記述 ― 関与観察と記述の視点						
6	保育ドキュメンテーションの作成方法とその活用						
7	遊び場面の観察におけるドキュメンテーションの作成						
8	ドキュメンテーションの発表とまとめ						
成績評価方法							
授業内課題 50%、最終課題 50%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
実習やボランティアなど子どもと関わる時には、意識的に自分の内面にも目を向けるようにしましょう。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							

授業科目名	子どもの保健					科目コード	E2104
担当者	小泉 千恵子					履修区分	選択
開講年次	2年	開講期	通年	授業回数	30回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) 子どもの命の大切さ、子どもの健康について考えていきます。 保育者教育者として子どもに関わっていくにあたって必要な知識(子どもの心身の発達発達、病気、環境、養護方法)を学びます。							
(到達目標) 以下の項目について子どもの健康を維持増進するために必要な基礎知識を習得することを目的に学んでいきます。 ・子どもの発達発達 ・子どもを取り巻く環境/家庭や地域との関わり ・かかりやすい病気と予防と対処方法 ・事故防止と安全対策 ・母子保健政策と各種統計							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
子どもに関わる仕事をするときに必ず必要な“子どもの健康”に関する内容です。 グループワーク、討議、質疑応答に積極的に参加して学びを深めて欲しいと思います。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容			回数	講義内容		
1	子どもの保健とは			16	子どもの遊び、運動、他		
2	子どもの心と身体の特徴			17	子どもの精神保健		
3	子どもの身体発達(1)			18	子ども虐待		
4	子どもの身体発達(2)			19	子どもを取り巻く環境		
5	子どもの生理機能(1)			20	保育の多様化、家庭との連携		
6	子どもの生理機能(2)			21	子どもの保健活動の実際(1)		
7	子どもの運動機能(1)			22	子どもの保健活動の実際(2)		
8	子どもの運動機能(2)			23	新生児、低出生体重児の特徴と養護		
9	子どもの精神機能(1)			24	アレルギーの起こり方と主なアレルギー疾患		
10	子どもの精神機能(2)			25	子どもの事故の特徴と事故防止		
11	母乳と人工栄養			26	保育所でよくみられる感染症、予防接種		
12	離乳食と幼児食			27	子どもの病気 各論①		
13	子どもの生活と環境			28	子どもの病気 各論②		
14	子どもの生活習慣(1)			29	母子衛生に関する統計		
15	子どもの生活習慣(2)			30	まとめ		
成績評価方法							
期末試験 50%、学期途中のレポート 25%、グループワークへの参加度 25%で総合的に評価します。 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としません。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
子どもの保健テキスト		小林美由紀 編著		診断と治療社		978-4-7878-2531-5	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
適宜紹介します							
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
日頃から、書籍、新聞記事、雑誌、映画などの中から子どもに関するニュース、子どもを取り巻く環境の問題点などを意識して見聞きするようにして、子どもの心と身体の特徴や必要な支援、また家族から受ける影響などについて、考えてみてください。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
毎回の講義終了時にご質問ください。							

授業科目名	子どもの健康と安全					科目コード	E2105
担当者	俵 佐和子					履修区分	選択
開講年次	2年	開講期	後期	授業回数	15回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要)							
・保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助について理解する。							
・関連するガイドラインや近年のデータを踏まえ、保育における衛生管理や事故防止及び安全対策・危機管理・災害対策について理解する。							
(到達目標)							
1.保育における保健的観点について理解することが出来る。							
2.保育における衛生管理・安全管理について具体的に理解することが出来る。							
3.子どもの体調不良等に対する保健的対応が出来る。							
4.子どもの健康及び安全管理に関わる専門機関や家庭との連携や具体的な保健活動を理解することが出来る。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
この授業は、保育・養護の基本低知識を学び、保育者としての専門的な意識づけや技術を高めていく授業です。事前学習を含め各自、目的目標をもって、積極的に取り組んでください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	子どもの事故 八辰から考える災害に備え、訓練の必要性和心のケア						
2	子どもの事故予防 環境他 変えられることかえられないこと						
3	体調不良 子どもの身体を知る、観察のポイント(相手を知る) 症状への対応						
4	発熱の仕組み 体調不良時の保護者対応						
5	救急・応急対応(1)						
6	救急・応急対応(2)						
7	感染症の対応と対策						
8	健康教育 子どもの体を知ろう						
9	健康教育 身体活動保育における保健的対応						
10	保育における保健的対応 飲食(離乳食・調乳含む)、歯、睡眠、口腔機能の発達に伴う様々な変化						
11	保育における保健的対応 食べ物の通り道						
12	保育における保健的対応 抱っこ、おんぶ、衣服の着脱、沐浴(入浴含む)、おむつ交換(トイレトレーニング含む)						
13	保健的対応 12 回目続き スキンケア、尿量、睡眠と呼吸の関係、育児用品の選び方と活用						
14	保健的対応 13 回目続き 保育における保健的対応 慢性疾患、障害のある子供への対応						
15	安全管理の実施体制、健康づくりへの取組・身体計測 母子保健に関する法律、保育をめぐる現代的課題 まとめ						
成績評価方法							
筆記試験 40%、演習への取り組み姿勢 30%、課題 30%で総合的に評価します。							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としません。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
子どもの保健と安全		松本峰雄監修		ミネルヴァ書房			
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
適宜紹介します							
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
日々、子どもに関する news に関心をもって過ごしてください。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
ご質問、疑問点などは、毎回の講義終了時にお尋ねください。							

授業科目名		子どもの食と栄養				科目コード	E2106
担当者		富田 道子				履修区分	選択
開講年次	3 年	開講期	前期	授業回数	15 回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) 子どもの栄養と食生活は、豊かな人間性を育て、生涯にわたる健康の基礎となる。本科目では、子どもの発育・発達に必要な事柄を栄養と食生活の面から学び、理解を深める。 さらに、保育所の実際を垣間見ながら、食育の基本を理解する。							
(到達目標) 1. 健康な生活の基本として、食生活の意義や栄養に関する基礎的知識を学ぶ。 2. 子どもの発育・発達と食生活の関係について理解を深める。 3. 食育の基本を理解し、保育現場で応用できる力を身に付ける。							
履修における注意事項(受講ルールなど) スマートフォンは出さないなど、最低限のルールを守ってください。 毎回の授業で小レポートを課します。 オンライン授業になった場合、演習に係る費用は基本的には自己負担とします。ただし、日常的に扱わないものについては大学からまとめて送ります。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	ガイダンス 子どもの健康と食生活の意義						
2	子どもの発育・発達と食生活						
3	演習:味覚について						
4	栄養に関する基礎的知識						
5	献立作成と調理の基本						
6	演習:作成した献立に基づく調理実習						
7	食の衛生と安全						
8	ライフステージ別の栄養と食生活(1)乳児期						
9	演習:離乳食						
10	ライフステージ別の栄養と食生活(2)幼児期						
11	演習:幼児食						
12	食育の内容と計画						
13	食育企画の具体を検討						
14	食育企画の準備						
15	食育の実施・評価とまとめ						
成績評価方法 毎回の小レポート 50%、提出物 30%、発表 20% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
子どもの食と栄養		森脇千夏 他		東京教学社		978-4-8082-6060-6	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど) 毎授業後に資料の見直しと整理を行い、テキストでその範囲を復習しておくこと。 日常的にメディア等の「食」関連情報に興味・関心をもつようにしてください。 教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。 第1回の授業で説明します。							

授業科目名		子どもと環境				科目コード	E2107
担当者		白神 聖也				履修区分	選択
開講年次	1 年	開講期	前期	授業回数	15 回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要)							
子どもを取り巻くさまざまな環境(自然環境、社会環境、体内環境など)について理解し、自然環境や社会環境が、子どもの心身の発達にどのような影響を与えているのかを考察する。また、実際に近隣の自然環境や地域の施設などを訪れ、子どもにおいてより良い環境とは何かについて探究する。同時に、環境に関わるあそびの保育・初等教育の内容を具体的に学ぶ。							
(到達目標)							
1. 子どもを取り巻く環境と心身への影響を理解する。							
2. 子どもの環境の問題点を指摘し、改善できるようになる。							
3. 子どものあそびについて知り、くふうできるようになる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
配布資料については、予備の配布は行いませんので、紛失等した場合は、各自の責任において、他の学生からコピーなどをさせてもらってください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	子どもと環境(オリエンテーション)						
2	植物の栽培、動物の飼育						
3	野菜や果物、虫や小動物						
4	遺伝と環境						
5	種子と果実の遊び						
6	風船とシャボン玉、凧揚げ						
7	パズル、折り紙						
8	自然災害と防災						
9	自然環境とその変化						
10	野外自然観察(身近な環境)						
11	社会環境とその変化 1						
12	社会環境とその変化 2						
13	子どもの体内環境 1						
14	子どもの体内環境 2						
15	社会施設見学						
成績評価方法							
期末試験 80%、レポート 20%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
なし							
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
新 子どもと環境(実技・実践編)		奥井智久, 白神澄二		三晃書房		978-4-7830-8003-9	
子どもと環境		前林清和, 嶋崎博嗣		一藝社		978-4-86359-009-0	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
講義後には、重要用語の復習をしてください。また、関連の資料などに目を通すことを勧めます。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
担当教員の研究室に直接来てください。							

授業科目名		世界の子どもと教育				科目コード	E2108
担 当 者		深澤 悦子				履 修 区 分	選択
開 講 年 次	4 年	開 講 期	前期	授 業 回 数	8 回	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標							
(概 要)							
世界の保育や教育の制度、保育方法に関する知識を深め、日本の保育や教育と比較し、考察する。							
(到 達 目 標)							
1. 世界の子どもたちの文化や、あそびについて理解し、保育内容を学ぶ。							
2. 諸外国の乳幼児教育の思想にふれ、保育や教育について自分の考えをもつ。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講 義 内 容						
1	世界の教育制度						
2	世界の学校						
3	OECDと乳幼児教育						
4	世界の子どもたちのあそび						
5	『シュタンツ便り』から学ぶ子ども(1)						
6	『シュタンツ便り』から学ぶ子ども(2)						
7	『シュタンツ便り』から学ぶ子ども(3)						
8	世界の子どもたちの保育や教育から学んだことのプレゼンテーション						
成 績 評 価 方 法							
提出物 40%、期末試験 60%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教 科 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBNコード	
1 年次科目で使用した『保育原理 第2版』							
参 考 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
・シラバスに従いながら予習、復習(講義をまとめる、わからないことは調べるなど)を行う。							
・適宜、資料を配布します。ファイリングを必ずしてください。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
・担当教員と確認してください。							

授業科目名		初等国語(書写を含む)				科目コード	E2109
担当者		瀧口 美絵				履修区分	必修
開講年次	2年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) 本講義では、小学校における国語科学習指導の目標と内容、指導計画、学習指導について、理論にもとづき学習する。国語科学習指導の目標と内容、授業の構造、授業過程、指導計画など、小学校における国語科学習指導の全領域にわたって講義する。特に、諸外国で必須となっているメディア・リテラシーやグラフィックノベルなどを取り入れた、新しい国語科教育の知識・技能を習得させる。							
(到達目標) 文部科学省の告示する学習指導要領をはじめ、国語科教育に関する基礎的知識を身につける。初等教育の国語科で扱う基本的な内容について多角的に解説し、初等教育教員として必要な知識・技能への理解を深める。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
指定したファイルを毎時間必ず持参すること。 講義で配布する資料を必ずファイルし、保管しておくこと。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	国語科教育の前提(1) 小学校国語科教育の意義と目標						
2	国語科教育の前提(2) 小学校国語科教育研究のねらい						
3	「話すこと・聞くこと」の教育(1)目標と内容						
4	「話すこと・聞くこと」の教育(2)社会文化的なコミュニケーション能力の育成の意義						
5	「書くこと」の教育(1)「書くこと」の目標と内容						
6	「書くこと」の教育(2)「書くこと」の学習とコンピュータの融合と課題						
7	「読むこと」の教育(1)「音読・朗読」の目標と内容						
8	「読むこと」の教育(2)「説明的文章を読むこと」の理論						
9	「読むこと」の教育(3)「文学的文章を読むこと」の理論						
10	「読むこと」の教育(4)「古典的文章を読むこと」の歴史と展開						
11	「知識及び技能」の教育 音声、文字・表記、語句、文法、ことば等についての教育目標と内容						
12	「書写」教育 毛筆、硬筆等の「書写」の教育目標・内容						
13	新しい国語科教育(1)「読書」教育 グラフィックノベルを読み解く						
14	新しい国語科教育(2)ICT 教育と国語科教育						
15	新しい国語科教育(3)諸外国の国語科教育						
成績評価方法							
試験 50%、レポート 40%、講義への振り返りシートの提出や講義への貢献度(積極的な発言)等 10% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
『小学校学習指導要領解説 国語編』		文部科学省		東洋館出版社		9784491023717	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
講義で使用した資料の順番を守ってファイリングし、初等国語科教育法の講義や実習指導等でも活用してほしい。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
講義外の時間においては、研究室、メールにおいて対応します。							

授業科目名		初等算数				科目コード	E2110
担 当 者		近藤 毅				履 修 区 分	選択
開 講 年 次	1 年	開 講 期	後期	授 業 回 数	15 回	単 位 数	2
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標							
(概 要)							
小学校算数科の各領域「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」「データの活用」のもとにある数学の基礎的な事項と考え方を学ぶ。併せて、具体的な事例から数学的な見方・考え方を知る。							
(到 達 目 標)							
① 小学校算数教科書の指導内容のもとにある専門的な事項を理解する。							
② 算数科指導の今日的な課題を理解し、数学的な見方・考え方を身につける。							
③ 学生自身が数学的活動の体験をすることで、数学のよさや楽しさを味わう。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
・授業には指示により次の文具を準備する。(ものさし、三角定規、分度器、のり、ハサミ、30 ポケットの A4 クリアファイル)							
・毎回、資料プリントを配布します。止むを得ず授業を休む場合は、コピー等で入手すること。							
・各授業の最後に振り返りの記入や課題を出します。これを通して出席確認とします。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講 義 内 容						
1	ガイダンス・算数・数学を学ぶ意義						
2	数と計算領域の教材の在り方 1(数の概念と表現…「数の誕生から2進法のマジックへ」等)						
3	数と計算領域の教材の在り方 2(式と整数の計算…「カレンダーの中の数学」等)						
4	数と計算領域の教材の在り方 3(小数・分数の概念と計算…「分数が折り紙の中に生まれるとき」等)						
5	測定領域の教材の在り方(量の概念と測定…「量を実感！在れども表せず」等)						
6	図形領域の教材の在り方 1(図形の概念と性質…「図形の仲間分けと敷き詰め」等)						
7	図形領域の教材の在り方 2(紙を折ってできる図形…「紙テープと折り紙とコピー用紙で」等)						
8	図形領域の教材の在り方 3(作図と論証…「ビリヤードの玉の行方とバラボラアンテナ」等)						
9	図形領域の教材の在り方 4(図形の構成要素と求積…「五角形を等積の三角形や正方形に！そして独楽に」等)						
10	変化と関係の教材の在り方 1(割合の概念…「生活の中の見えない量を比べる」等)						
11	変化と関係の教材の在り方 2(関数の概念…「グラフで未来を予想し判断する」等)						
12	変化と関係の教材の在り方 3(関数の概念…「ダイヤグラムで問題解決する」等)						
13	データの活用領域の教材の在り方 1(統計的な問題解決…「池の中の鯉は何匹？」等)						
14	データの活用領域の教材の在り方 2(確率と統計…「どっちがお得？」等)						
15	算数科の教材と子どもの認識(「問題づくりと子どもの様相」等)						
成 績 評 価 方 法							
試験 40%、毎回の授業後のレポートや確認問題などの状況 60%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教 科 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBN コード	
参 考 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBN コード	
小学校学習指導要領(H29)解説算数編		文部科学省		日本文教出版		978-4-536-59010-5	
算数教育指導用語辞典第 5 版		日本数学教育学会		教育出版		978-4-316-80462-0	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
・配布資料と授業記録ノートを復習する。また、算数・数学関連の本を読む。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
メール:tkond@hcu.ac.jp							

授業科目名		初等生活				科目コード	E2111
担当者		廣中 眞由美				履修区分	選択
開講年次	1 年	開講期	後期	授業回数	15 回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要)							
学習指導要領の目標を踏まえ、幼保との接続や、3年以降の社会科や理科の基となる体験や知識について考察する。生活科の内容に関する社会事象、自然事象、総合的な事象を取り上げ、体験的な活動も交えた授業を行う。							
(到達目標)							
子どもたちの自立に果たす役目を中心とした生活科の目標や内容を理解する。教材の基礎的な知識や子どもたちにとっての活動の意義やあり方を把握する。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
・ノートをきちんととること。欠席分も写しておくこと。 ・授業中の携帯電話使用、私語、授業途中の入退出は禁止する。 ・遅刻、早退等やむおえぬ場合は、本人が理由を伝えること。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	オリエンテーション 生活科教育概要						
2	生活科の目標と内容構成						
3	内容(1)(8) 学校と生活						
4	内容(3) 地域と生活 /安全教育						
5	内容(5) 季節の変化と生活 (自然の観察指導)						
6	内容(7) 飼育栽培 (表現の指導・評価の具体)						
7	内容(7) 飼育栽培活動の実際と内容						
8	内容(6) 遊びや遊びに使うものの製作						
9	内容(6) 遊びや遊びに使うものの製作 (発展)						
10	内容(8) 交流						
11	内容(4) 地域の公共物・公共施設						
12	内容(2) 家庭と生活						
13	内容(3)(5)(8) 季節の行事と交流						
14	内容(9) 自分の成長 (評価の具体)						
15	生活科の現状と課題						
成績評価方法							
授業中の製作物・活動の観察・授業振り返り 40%、期末試験 60% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
あたらしいせいかつ上・下				教育出版			
小学校学習指導要領解説生活編		文部科学省		日本文教出版株式会社			
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
新しい教職教育講座 5 生活科教育		鎌倉博/船越勝 編著		ミネルヴァ書房			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
・ノートをきちんととり、学習指導要領・児童用教科書によく目を通す。 ・身の回りの人や自然に目を向け、関心や関わりを持つようにする。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
なるべく質問や相談は、授業前後の休憩時間等に行ってください。							

授業科目名		初等音楽				科目コード	E2112
担当者		須崎 朝子				履修区分	選択
開講年次	1 年	開講期	後期	授業回数	15 回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) 各自の到達目標に応じた課題曲を選択し、ピアノ演奏、小学校歌唱共通教材の歌唱、伴奏、弾き歌いに取り組むことによって、読譜、ピアノ演奏、歌唱、伴奏、弾き歌いのための基本的な技能を身につける。また、即興的に伴奏できるように、コードネームの基本を演習形式で学習する。							
(到達目標) 小学校音楽科における教育の目標と内容を理解し、小学校教員として必要な音楽に関する基本的な技能である読譜力、弾き歌いの技術を身につけるとともに、コードネームについての基本的な知識を習得することによって歌唱に簡単な伴奏をつけられるようにする。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
授業毎に各自の課題の習得状況を試験するので、授業外でも課題を自学し、試験に合格できるよう努力してください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	オリエンテーション 授業スケジュールの説明						
2	学習課題の提示と読譜の基本説明						
3	音名、階名、拍子、リズムの概念理解とピアノ、歌唱の基礎指導						
4	音階と調、移調と転調						
5	到達目標に応じた読譜、ピアノ、歌唱の指導(バイエル20～39番レベルの曲)						
6	到達目標に応じた読譜、ピアノ、歌唱の指導(バイエル40～59番レベルの曲)						
7	到達目標に応じた読譜、ピアノ、歌唱の指導(バイエル60～80番レベルの曲)						
8	到達目標に応じたピアノ、歌唱の課題を演習形式で発表						
9	共通教材を題材にした歌唱の演習						
10	共通教材を題材にした伴奏の演習						
11	共通教材を題材にした弾き歌いの演習						
12	コードネーム① 3和音の習得						
13	コードネーム② 転回形と簡単な伴奏方法を行う						
14	コードネーム③ 様々なリズム表現						
15	共通教材の弾き歌いと小学校教員採用試験課題曲レベルの曲より各自選択、演習						
成績評価方法							
期末試験 60%、授業内課題 40%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
最新 初等科音楽教育法 2017 年告示「小学校学習指導要領」準拠		初等科音楽教育研究会編		音楽之友社		978-4276821019	
保育者になるためのピアノ教本		山本 学(編著)		エイデル研究所		978-4871686280	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
バイエル教則本		バイエル		(各社版)			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
各自の習得状況に応じて、課題を課すので、ピアノや弾き歌いの練習を習慣化し、授業以外の時間にも自学することによって技術の習得を目指すこと。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
担当教員から個別に連絡方法(E メールなど)を教えるので、各自、進捗状況を報告しながら、積極的に質問するようにしてください。							

授業科目名		図画工作				科目コード	E2113
担当者		國清 あやか				履修区分	選択
開講年次	1 年	開講期	後期	授業回数	15 回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要)							
図画工作科の目標と基本的な内容について理解し、教材研究を行う。特に「表現」および「鑑賞」の実践的指導方法等について、「絵本制作」を通して造形表現や実技演習を行い、知識・技能を高める。							
(到達目標)							
本授業は、授業構想の考え方、「表現」と「鑑賞」の実践的指導方法等について、講義、造形表現および鑑賞の実技演習を、絵本制作を通して習得させることを目標とする。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
実技演習の際には、汚れてもよい服装で出席すること。							
配付資料は予備を準備しません。紛失した場合は各自の責任において補充すること。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	オリエンテーション「絵本とは」						
2	絵本理解「絵と物語」						
3	絵本制作に向けて実技演習「表現と技法(点と線による表現)」						
4	絵本制作に向けて実技演習「表現と技法(抽象形による表現)」						
5	絵本制作に向けて造形表現の理解「造形要素と絵画表現」						
6	絵本制作に向けて実技演習「表現と技法(モダンテクニック マーブルリング、ドリップリングなどー)」						
7	絵本制作に向けて実技演習「表現と技法(モダンテクニック スパッタリング、コラージュなどー)」						
8	絵本制作に向けて実技演習「表現と技法(飛び出す絵本)」						
9	絵本制作の実際「物語と頁割り」						
10	絵本制作の実際「ダミー制作」						
11	絵本制作の実際「技法を活かして原画制作」						
12	絵本制作の実際「技法を活かして原画制作」						
13	絵本制作の実際「技法を活かして原画制作」						
14	絵本制作の実際「装丁」						
15	絵本制作を終えて「絵本の鑑賞と評価」						
成績評価方法							
実技演習による作品・鑑賞カード 50%、絵本作品 50%							
実技演習での作品や、制作した絵本を評価の対象とします。							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
適宜プリント配付							
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
多様な絵本を読んで、絵本制作に活かしましょう。絵本制作では、授業以外の時間にも制作してください。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
第1回目の授業でお知らせします。							

授業科目名	初等体育					科目コード	E2114
担 当 者	林 俊雄					履 修 区 分	選択
開 講 年 次	2 年	開 講 期	前期	授 業 回 数	15 回	単 位 数	2
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標							
(概 要)							
各運動領域固有の特性とねらいを踏まえたうえで、代表的な運動教材を例としてとりあげながら、その教科内容の本質に迫り、運動教材のあり方について、実技を通して習得することを目指す。また、子どもたちの発達段階の特徴に応じたより良い教材のあり方についても考察を進められるようにする。							
(到 達 目 標)							
①各領域の特性とねらいについて理解することができる。							
②各領域の代表的運動教材のあり方について、実技を通して習得することができる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
・実技の時はふさわしい服装・シューズを整えて受講すること。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講 義 内 容						
1	本授業のねらいや進め方について理解する。必要なグルーピングと役割分担を決める。						
2	低学年の体づくり運動領域の教材のあり方						
3	中学年の体づくり運動領域の教材のあり方						
4	高学年の体づくり運動領域の教材のあり方						
5	器械・器具を使つての運動遊び領域の教材のあり方(マット運動遊び)						
6	器械運動領域の教材のあり方(マット運動)						
7	器械・器具を使つての運動遊び領域/器械運動領域の教材のあり方(跳び箱遊び・跳び箱運動)						
8	ゲーム領域の教材のあり方(鬼遊び/じゃんけんを使ったゲーム)						
9	ゲーム領域/ボール運動領域の教材のあり方(ゴール型①:フットボール型教材)						
10	ゲーム領域/ボール運動領域の教材のあり方(ゴール型②:バスケットボール型教材)						
11	ゲーム領域/ボール運動領域の教材のあり方(ネット型①:プレルボール型教材)						
12	ゲーム領域/ボール運動領域の教材のあり方(ネット型②:バレーボール型教材)						
13	ゲーム領域/ボール運動領域の教材のあり方(ベースボール型①:ハンドベースボール型ゲーム)						
14	ゲーム領域/ボール運動領域の教材指導のあり方(ベースボール型②:ティーボール型ゲーム)						
15	保健領域の教材のあり方						
成 績 評 価 方 法							
レポート 70%、毎時の振り返り及び次時への課題追求 30%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教 科 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBNコード	
(改訂版) 初等体育科教育の研究		木原成一郎他		学術図書出版社		978-4-7806-0676-8	
参 考 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBNコード	
小学校学習指導要領解説 体育編		文部科学省		東洋館出版			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
テキストや参考書を基にして、該当する領域について事前に理解しておくようにする。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
メールか直接研究室へ訪ねてください。							

授業科目名		初等社会				科目コード	E2115
担当者		佛圓 弘修				履修区分	選択
開講年次	2年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要)							
小学校社会科の中学年・高学年の教科内容について、専門的見地から講義を行う。必要に応じて、フィールドワークや文献研究も行う。							
(到達目標)							
小学校社会科の教科内容について専門的見地からの理解を深める。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
・毎時間、印刷資料を配布し、資料の読解を行うとともに、本時の学習問題の探究やワークショップを行います。							
・配布資料については、予備の配布は行いませんので、紛失等をした場合は、各自の責任において他の学生からコピー等をしてもらってください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	小学校社会科中・高学年の内容の概要						
2	小学校社会科の地域学習(1): 広島市を中心とした地域の特色(地理的特色)						
3	小学校社会科の地域学習(2): 広島市を中心とした地域の特色(産業的特色)						
4	小学校社会科の地域学習(3): 安全で健康な地域生活のための仕組と取組						
5	小学校社会科の地域学習(4): 広島県の特色(地理的特色)						
6	小学校社会科の国土学習(1): 我が国の地理的特色						
7	小学校社会科の国土学習(2): 我が国の近隣諸国を中心とした世界の地理的特色						
8	小学校社会科の産業学習(1): 我が国の農業・水産業の特色						
9	小学校社会科の産業学習(2): 我が国の工業の特色						
10	小学校社会科の環境学習(1): 我が国の国土保全についての概要						
11	小学校社会科の環境学習(2): 我が国の公害の歴史と生活環境を守る仕組と取組						
12	小学校社会科の政治学習・国際理解学習(1): 我が国の政治の働きについての概要						
13	小学校社会科の政治学習・国際理解学習(2): 世界の中の日本の役割						
14	小学校社会科の歴史学習(1): 我が国の狩猟・採集時代から武士の世の終焉までの概要						
15	小学校社会科の歴史学習(2): 明治時代から現代までの概要						
成績評価方法							
授業内で記入するコメントシート 60%、討論や観察の内容と主体的なかわり 40%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
小学校社会科教育		社会認識教育学会編		学術図書出版社		978-4-7806-0177-0	
小学校学習指導要領解説 社会編		文部科学省		日本文教出版株式会社		978-4-536-59009-9	
社会科教科書「新しい社会」(3～6年)		北敏夫, 小原友行		東京書籍株式会社		ISBN978-4-487-10523-6	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
・小学校社会科教科書や広島市小学校社会科副読本に取り上げられている教材についての事前学習をしておくこと。							
・日常的に新聞・テレビのニュースに興味・関心を持ち、その背景について考えておくことが望ましい。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
・直接研究室を訪ねるか、担当教員もしくは事務を通してメール等で連絡してください。							

授業科目名		初等理科				科目コード	E2116
担 当 者		白神 聖也				履 修 区 分	選択
開 講 年 次	2 年	開 講 期	前期	授 業 回 数	15 回	単 位 数	2
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標							
(概 要)							
小学校理科で児童が学ぶ内容や観察・実験について、教える立場での深い理解をするための講義を行うとともに、観察・実験を行う。							
(到 達 目 標)							
小学校の理科の学習内容について、学習指導要領に合わせ十分に理解する。							
理科内容についての基礎的学力を身につけるとともに、身の回りの自然科学について発展的に考察できる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
配布資料については、当日以外の配布は行いませんので、欠席した場合や紛失した場合は、他の学生からコピーをさせていただきます。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講 義 内 容						
1	四季の生き物、身近な自然の観察						
2	物と重さ、風やゴムの働き						
3	光と音、磁石、電気とエネルギー						
4	昆虫と植物、太陽と地面の様子						
5	空気と水の性質、金属、水、空気と温度						
6	人の体のつくりと運動、季節と生物						
7	月と星、天気の様子						
8	物の溶け方、振り子の運動						
9	電流と電磁石の働き						
10	植物の発芽・成長・結実、動物の誕生						
11	流れる水の働きと土地の変化、天気の変化、自然災害						
12	燃焼の仕組み、水溶液の性質						
13	てこの規則性、電気の利用						
14	人の体のつくりと働き、植物の養分と水の通り道、生物と環境						
15	土地のつくりと変化、月と太陽、自然と環境						
成 績 評 価 方 法							
期末試験 80%、レポート 20%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教 科 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBNコード	
未来をひらく小学理科3年		養老孟司・角屋重樹ほか		教育出版		978-4-316-20388-1	
未来をひらく小学理科4年						978-4-316-20390-4	
未来をひらく小学理科5年						978-4-316-20392-8	
未来をひらく小学理科6年						978-4-316-20394-2	
参 考 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
講義後には、授業内容の復習をしてください。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
担当教員の研究室に来てください。							

授業科目名		初等家庭				科目コード		E2117	
担当者		富田 道子				履修区分		選択	
開講年次		2 年	開 講 期	前期	授 業 回 数	15 回	単 位 数		2
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要)									
子どもを取り巻く社会の現状を垣間見ながら、家庭科の今日的課題を学習指導要領を踏まえて検討する。具体的には、家族・家庭生活、衣・食・住の生活、消費生活・環境の各学習領域において、目指す資質・能力と子ども主体の授業の重要性について理解する。									
(到 達 目 標)									
小学校家庭科における教材の果たす役割を理解し、発達段階に応じた教材づくりの基礎的な知識を習得する。 本授業を通して、子どもが学びの主体者となれるような教材をつくれるようになることを目指す。									
履修における注意事項(受講ルールなど)									
スマートフォンは出さないなど、最低限のルールを守って下さい。 毎回の授業で小レポートを課します。 オンライン授業になった場合、実習に係る費用は基本的には自己負担とします。									
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容								
1	ガイダンス 現代社会における子どもの生活課題								
2	共生社会(1)家庭生活、消費生活・環境とユニバーサルデザイン								
3	共生社会(2)多様性を大切にする社会								
4	食生活(1)教材の検討(調理の基本)								
5	食生活(2)栄養の授業内容と教材の検討(ゆでる)								
6	食生活(3)栄養の授業内容と教材の検討(炒める)								
7	食生活(4)栄養の授業内容と教材の検討(授業検討)								
8	衣生活(1)基礎縫いの指導								
9	衣生活(2)生活を豊かにするための布を用いた製作								
10	消費生活と環境(1)課題解決学習の進め方								
11	消費生活と環境(2)体験学習を仕組む								
12	教材づくり(1)教材づくりの基本								
13	教材づくり(2)ワークシートの作成1								
14	教材づくり(3)ワークシートの作成2								
15	プレゼンテーション								
成 績 評 価 方 法									
毎回の小レポート 50%、提出物 30%、試験 20% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名			著 者		出 版 社		ISBNコード		
新しい家庭 5・6					東京書籍		978-4-487-10490-1		
参 考 書									
書 名			著 者		出 版 社		ISBNコード		
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									
配布された資料はその日のうちに復習し、しっかりファイル・保管すること。									
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。									
第 1 回の授業で説明します。									

授業科目名	初等英語					科目コード	E2118
担当者	戸谷 敦子					履修区分	※下記参照
開講年次	3年	開講期	前期	授業回数	8回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要)							
(1)英語運用力を高めるために英語の5領域(読むこと、聞くこと、話すこと、やり取り、発表)の活動を行い、バランスの取れた英語コミュニケーション能力を身につける。							
(2)英語に関する背景的な知識を学び、授業実践に必要な英語力を身に付けていく。							
(到達目標)小学校における外国語活動・外国語の授業実践に必要な実践的な英語運用力と英語に関する基本的な知識を身につける。							
(1)小学校での外国語活動・外国語科の授業に必要な英語運用力(4技能5領域)を授業場面を意識しながら身につける。							
(2)小・中学校の接続を踏まえ、小学校での外国語活動・外国語科に必要な背景的な知識(音声、語彙、文構造、文法、正書法等)の他、言語習得論、児童文学、異文化理解)を身につける。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
英語辞書持参(電子辞書可)							
携帯使用は禁止							
※コースによって「履修区分」が違います。教育課程表をよく確認してから、履修登録を行ってください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	オリエンテーション、外国語教育の意義・小中連携						
2	主要な英語教授法の変遷、言語獲得理論を踏まえて						
3	楽しく効果的な指導(歌・チャンツ・ゲーム・クイズ)、英語の児童文化、異文化理解						
4	効果的なチーム・ティーチング、デジタル教材(ICT・映像)						
5	リスニングの指導—英語リズムの体得、フォニックス指導						
6	スピーキングの指導—「やり取り」「発表」「ストーリーテリング」						
7	リーディングの指導法—文字の識別・読解						
8	ライティングの指導法—大文字・小文字・語句や表現						
成績評価方法							
期末試験 50%, 授業内ワークシート及び小テスト 50%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
Let's Have Fun Teaching English from Theory to Practice		Yayoi Obara, Noriko Toyoda, Mari Takahashi, Steven Rogers		南雲堂		978-4-523-17893-4	
New Horizon Elementary 5		アレン玉井光枝、他		東京書籍		978-4-487-10587-8	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 外国語活動・外国語編		文部科学省		開隆堂		978-4-304-05168-5	
New Horizon Elementary 6		アレン玉井光枝、他		東京書籍		978-4-487-10585-4	
小学校英語の教育法：理論と実践		アレン玉井光枝		大修館書店		978-4-469-24548-6	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
日頃から英語に触れる機会をつくることや目標(英検、TOEFL など)を決めて勉強に望むと良いと思います。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
授業後、またはオフィスアワーを利用して下さい。							

授業科目名		幼児と環境				科目コード	E2175
担当者		菊間 馨				履修区分	選択
開講年次	1 年	開講期	後期	授業回数	15 回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) 幼児が環境に好奇心・探求心をもって関わることにより、その資質・能力を発達させることを理解し、幼児にとって必要な環境またはよりよい環境について、幼児の主体性を重視した保育実践を構想する力を身につける。							
(到達目標) 保育者にとってより重要なのは、子どもに知識を伝えるのではなく子どもが主体的に学ぶことのできる環境を用意することであるという事を理解する。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
近隣の保育施設を使って施設見学を予定している。休日を使つての見学に参加すること。 知識を伝えることとそれを記憶することを重視していないので、主体的に取り組む姿勢がなければ時間を無駄にする事になるので注意すること。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	幼児と環境について幼稚園教育要領、保育所保育指針から「環境」を解説する。						
2	身近な環境を保育者の目で見直す。						
3	身近な環境を教材化する。						
4	県内の優れた保育施設の実践例について DVD を使って学ぶ。						
5	保育施設の見学を通して、室内環境について学ぶ。						
6	保育施設の見学を通して、園庭環境について学ぶ。						
7	理想の保育環境を構想する。						
8	ニホンザルの個体発生から、遊びと学びの関係について学ぶ。						
9	人間の成長発達の視点から、遊びの重要性について学ぶ。						
10	環境を受容する感覚について、実験を通して学ぶ。						
11	身体性の発達と環境の関係について学ぶ。						
12	自然環境と人工的環境について、DVD を使って考察する。						
13	災害時の保育園の姿から、非常時の保育者の態度を学ぶ。						
14	災害後の保育園の再建の様子から、保育の社会的意義を学ぶ。						
15	幼児と環境の関わりについて、学びや考察を確認し深める。						
成績評価方法							
日常の受講態度と学期末のレポートによって評価する。教科書は使用しないので、ノートをとること。 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
身近な自然を活かした保育実践とカリキュラム		松本信吾 広島大学附属幼稚園		中央法規出版		978-4-8058-5759-5	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
ノートをとること、積極的に質問する事							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
最初の講義時に説明							

授業科目名		幼児と健康				科目コード	E2176
担当者		林 俊雄				履修区分	選択
開講年次	1 年	開 講 期	後期	授 業 回 数	15 回	単 位 数	2
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標							
(概要)							
幼稚園教育要領の健康領域の中の(2)いろいろな遊びの中で十分に体を動かす、(3)進んで戸外で遊ぶに関連するように、幼児期の年齢に応じた発達段階に適した様々な運動あそびを取り上げ、実技を通してその運動あそびの本質(面白さや魅力)を理解し習得することを目指す。							
(到達目標)							
①年齢に応じた発達課題に適した運動あそびがあることを理解する。							
②実技を通して、それぞれの運動あそびの本質(面白さや魅力)を理解し習得することができる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
・実技の時はふさわしい服装・シューズ等を整えて受講すること。							
授業スケジュール							
回数	講 義 内 容						
1	オリエンテーション(本授業のねらいや進め方について理解し、必要なグルーピングや役割分担をする。)						
2	じゃんけんを取り入れた運動あそび:個人あそびと集団あそび						
3	まねっこあそび:動物まねっこあそび、曲やリズムに合わせたまねっこあそび						
4	用具を使った運動あそび①:フープとなわを使った運動あそび						
5	用具を使った運動あそび②:ボールを使った運動あそび(個人あそび)						
6	用具を使った運動あそび③:ボールを使った運動あそび(集団遊び)						
7	器具を使った運動あそび①:マットに慣れる・親しむあそび(動物歩きやお話マット)						
8	器具を使った運動あそび②:マットでいろいろな動きや転がり方に挑戦するあそび						
9	器具を使った運動あそび③:マットと跳び箱を組み合わせたあそび						
10	身近なものを使った運動あそび①:新聞紙を使うあそび						
11	身近なものを使った運動あそび②:段ボールを使うあそび						
12	鬼あそび①:交代鬼、増やし鬼、手つなぎ鬼等						
13	鬼あそび②:チーム対抗の鬼あそび(けいどろ)でルールや作戦を工夫する						
14	伝承あそび①:竹馬あそび、お手玉、けん玉等						
15	伝承あそび②:だるまさんが転んだ、はないちもんめ等						
成 績 評 価 方 法							
レポート 70%、毎時の振り返りカードの記入内容(成果や課題の確認) 30%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教 科 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBNコード	
保育と幼児期の運動あそび		岩崎洋子編著		萌文書林		978-4-89347-274-8	
参 考 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBNコード	
幼稚園教育要領解説		文部科学省		フレーベル館		978-4-577-81447-5	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
テキストや参考書を基にして、該当する運動あそびの内容について事前に理解しておくようにする。							
教員との連絡方法							
メールか直接研究室へ訪ねてください。							

授業科目名		幼児と言葉				科目コード	E2177
担当者		瀧口 美絵				履修区分	選択
開講年次	1 年	開講期	後期	授業回数	15 回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) 保育現場において子どもを支援するための言葉に関する知識や技能について示す。保育者に求められる資質を、表現の側面から整理し学修する。子どもたちの成長に重要なお互いの感情やその表現を理解してかわりあう方法を実際に体験し、多様な言語表現を意識し深めていく。また、絵本の教材分析を通して、イメージを広げ、関わりあいの大切さを実感する。							
(到達目標) 1.保育・幼児教育における言葉の重要性に関する知識を習得し、その意味や意義を理解する。 2.保育現場で活用する教材にふれ、言葉の側面から分析(思考・判断)して活用する力を身につける。 3.保育者に必要な言語表現技能を獲得する。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
講義資料を整理するためのファイルを用意してください。配布資料について、予備の配布は行いませんので、紛失等した場合は、各自の責任において、コピー等を用意してください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	ガイダンス、オリエンテーション						
2	幼児期の言葉の発達						
3	幼児における言葉の役割と必要性						
4	教材研究(1) 教材選択						
5	教材研究(2) 教材解釈						
6	教材研究(3) 教材研究の実際						
7	表現の方法と計画						
8	教材分析(1) 絵本紹介の目的と方法						
9	教材分析(2) 指導案の作成方法						
10	教材分析(3) 絵本紹介の実際						
11	教材分析(4) 絵本紹介の完成						
12	メディアと言葉の表現						
13	メディアを活用した言葉の教育						
14	メディアと言葉の教育の実際						
15	保育の中の言葉、幼小連携に向けて						
成績評価方法							
講義ごとに提出するコメント・カードの内容 20%、提出物 30%、期末試験 50% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
『幼稚園教育要領解説』		文部科学省		フレーベル社		9784577812457	
『保育所保育指針解説』		厚生労働省		フレーベル社		978-4577812426	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
講義で配布する資料を必ずファイルし、保管しておくこと。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							

授業科目名		幼児と人間関係				科目コード	E2178
担当者		権田 あずさ				履修区分	選択
開講年次	1年	開講期	後期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要)							
幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針における領域「人間関係」のねらいと内容について講義を行う。また、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」と領域「人間関係」との関連性について学ぶ。							
乳幼児期に経験する様々な人との出会いの中で、発達段階に応じて人との関わり方が、どのように移行していくのか解説する。保育者として、乳幼児の発達を促す環境や援助のあり方を考える。							
(到達目標)							
領域「人間関係」のねらいと内容や、これらと「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」との関連性について理解できる。							
乳幼児期の遊びや生活における子どもの人と関わる力の発達について説明できるようにする。また、乳幼児を取り巻く人間関係をめぐる現代的課題を理解する。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	オリエンテーションー保育内容「人間関係」とは一						
2	領域「人間関係」のねらいと他の領域との関係						
3	「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」における領域「人間関係」とのつながり						
4	乳幼児期の発達と領域「人間関係」①親(保護者)・家族との出会い						
5	乳幼児期の発達と領域「人間関係」②園生活での出会い						
6	子どもの心に寄り添う保育者の関わり						
7	遊びと子どもの育ち①乳児期の人との関わり						
8	遊びと子どもの育ち②3歳未満児の人との関わり						
9	遊びと子どもの育ち③3歳以上児の人との関わり						
10	遊びの中の友達との関わり						
11	家庭生活を通して育つ人との関わり						
12	個と集団の育ちーひとりひとりを理解することと共同性を育むことー						
13	人との関わりを見る視点						
14	現代の保育の課題と領域「人間関係」						
15	人との関わりにおける現代的課題						
成績評価方法							
期末試験 60%と課題 40%で評価する。							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
『事例で学ぶ保育内容＜領域＞人間関係』		無藤隆 監修		萌文書林		ISBN978-4-89347-257-1	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
・子どもに関わるニュースや記事に関心をもつようにしましょう							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							

授業科目名		幼児と表現				科目コード	E2179
担当者		國清 あやか/須崎 朝子				履修区分	選択
開講年次	1年	開講期	後期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要)							
感じたことや考えたことの表現を発達的に捉え、豊かな表現になるように促す環境や保育者の関りについて理解する。造形・音楽表現などの様々な表現の基礎的な知識・技能を学ぶことを通して、保育者としての感性や表現力を豊かにする。子どもたちの自然な音楽表現を引き出すために保育者として必要なピアノ演奏や伴奏、弾き歌いの基本を演習形式で学習する。							
(到達目標)							
1. 造形・音楽表現など、様々な表現の知識・技能を学び、幼児の表現を支えるための感性を豊かにする。							
2. 様々な表現の基礎的な知識・技能を活かし、幼児の表現活動の展開を考えることができる。							
3. 幼児の音楽表現に即時的に対応できるピアノ演奏の基本的な知識・技能を習得する。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
実技演習の際には、汚れても良い服装で出席すること。							
配付資料は予備を準備しません。紛失した際には各自の責任において補充すること。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						担当者
1	幼児の造形表現の意義						國清 あやか
2	造形表現の歴史						國清 あやか
3	造形に発展する素材と表現方法の手がかり①						國清 あやか
4	造形に発展する素材と表現方法の手がかり②						國清 あやか
5	様々な素材との出会い①						國清 あやか
6	様々な素材との出会い②						國清 あやか
7	自然環境の場と幼児の造形表現の関わり						國清 あやか
8	年少児の発達段階における特徴と音楽表現						須崎 朝子
9	年中、年長児の発達段階における特徴と音楽表現						須崎 朝子
10	保育における即興表現の効果について						須崎 朝子
11	鍵盤楽器による簡単な伴奏のつけ方と効果音のつけ方①						須崎 朝子
12	鍵盤楽器による簡単な伴奏のつけ方と効果音のつけ方②						須崎 朝子
13	音楽表現における情報機器の活用法について						須崎 朝子
14	幼児の音楽表現を促す保育者の関わりと技能						須崎 朝子
15	各自の到達目標に応じた課題曲や音楽表現を選択、演習						須崎 朝子
成績評価方法							
造形表現の実技演習による作品・鑑賞カード 50%，音楽表現に関わる授業内課題・期末試験 50% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
適宜プリント配付							
『保育者になるためのピアノ教本』		山本 学(編著)		エイデル研究所		978-4871686280	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
第1回目の授業でお知らせします。							

授業科目名		子ども家庭福祉				科目コード	E2119
担当者		吉原 直樹				履修区分	選択
開講年次	2年	開講期	後期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) 現代社会における、子ども家庭福祉の意義、歴史、法制度の理解、更に子ども家庭福祉の現状と課題について学び、福祉専門職として、理解と実践できる力を身につけることを目標とする。							
(到達目標) 1 現代社会における子ども家庭福祉の意義と歴史の変遷について理解する。 2 子どもの人権擁護について理解する。 3 子ども家庭福祉の制度や実施体系等について理解する。 4 子ども家庭福祉の現状と課題について理解する。 5 子ども家庭福祉の動向と展望について理解する。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
授業中の私語、携帯電話の使用は禁止します。配布資料は授業でのみ配布します。教科書は授業、試験ともに使用するの で、必ず購入してください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	子ども家庭福祉の理念と概念						
2	子ども家庭福祉の歴史の変遷・現代社会と子ども家庭福祉						
3	子どもの人権擁護の歴史の変遷・児童の権利に関する条約						
4	子どもの人権擁護と現代社会における課題						
5	子ども家庭福祉の制度と法体系						
6	子ども家庭福祉の実施体系						
7	児童福祉施設・子ども家庭福祉の専門職						
8	少子化と地域子育て支援・多様な保育ニーズへの対応						
9	母子保健支援と子どもの健全育成						
10	子どもの虐待・DV(ドメスティックバイオレンス)とその防止						
11	障害のある子どもへの対応・少年非行等への対応						
12	貧困家庭、外国籍の子どもとその家庭への対応						
13	次世代育成支援と子ども家庭福祉の推進						
14	地域における連携・協働とネットワーク						
15	諸外国の動向						
成績評価方法							
期末試験 80%、振り返りシート 20% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名			著者		出版社		ISBNコード
児童の福祉を支える「子ども家庭福祉」			吉田眞理		萌文書林		978-4-89347-322-6
参考書							
書名			著者		出版社		ISBNコード
保育福祉小六法 2022 年版					みらい		
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
双方向授業を心がけるので積極的に授業に参加してください。また、子ども家庭福祉の現状や課題について、日々のニュース等からも情報をキャッチし、福祉問題について考え理解を深めましょう。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
質問等につきましては、メールで時間等について予め連絡・確認して下さい。							

授業科目名		社会福祉				科目コード	E2120
担当者		吉原 直樹				履修区分	選択
開講年次	2年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要)							
現代社会における社会福祉の理念等を体系的に理解し、社会福祉の価値・倫理に基づき、保育士として実践現場で保育展開できる力を身につけることを目標とする。							
(到達目標)							
1 現代社会における社会福祉の意義と歴史的変遷及び社会福祉における子ども家庭支援の視点について理解する。							
2 社会福祉の制度や実施体系等及び相談援助について理解する。							
3 社会福祉における相談援助について理解する。							
4 社会福祉における利用者の保護に関わる仕組みについて理解する。							
5 社会福祉の動向と課題について理解する。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
授業中の私語、携帯電話の使用は禁止します。配布資料は授業でのみ配布します。教科書は授業、試験ともに使用するの で、必ず購入してください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	社会福祉の理念と概念						
2	社会福祉の歴史的変遷						
3	子ども家庭支援と社会福祉						
4	社会福祉の制度と法体系						
5	社会福祉行財政と実施機関						
6	社会福祉施設と社会福祉専門職						
7	社会保障及び関連制度の概要						
8	相談援助の意義と機能						
9	相談援助の対象と過程						
10	相談援助の方法と技術						
11	情報提供と第三者評価・利用者の権利擁護と苦情解決						
12	少子高齢化社会における子育て支援						
13	共生社会の実現と障害者施策						
14	在宅福祉・地域福祉の推進						
15	諸外国の動向						
成績評価方法							
期末試験 80%、振り返りシート 20%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
子どもと社会の未来を拓く「社会福祉」		新川泰弘・宮野安治		青踏社		902636-63-5	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
保育福祉小六法 2022年版				みらい		9784860155025	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
双方向授業を心がけるので積極的に授業に参加してください。また、講義の内容をふまえつつ、普段から身近な福祉問題に関心をもち、福祉の視点を育むようにしましょう。							
教員との連絡方法							
質問等につきましては、メールで時間等について予め連絡・確認して下さい。							

授業科目名		社会的養護Ⅰ				科目コード	E2122
担当者		吉原 直樹				履修区分	選択
開講年次	2年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) 社会的養護の意義について子どもの人権擁護を踏まえた社会的養護の基本を理解し、その制度や実施体系等について学び、社会的養護とそこでの福祉専門職としての理解と、実践できる力を身につけることを目標とする。							
(到達目標) 1 現代社会における社会的養護の意義と歴史的変遷について理解する。 2 子どもの人権擁護を踏まえた社会的養護の基本について理解する。 3 社会的養護の制度や実施体系等について理解する。 4 社会的養護の対象や形態、関係する専門職等について理解する。 5 社会的養護の現状と課題について理解する。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
授業中の私語、携帯電話の使用は禁止します。配布資料は授業でのみ配布します。教科書は授業、試験ともに使用するの で、必ず購入してください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	社会的養護の理念と概念						
2	社会的養護の歴史的変遷①						
3	社会的養護の歴史的変遷②						
4	子どもの人権擁護と社会的養護						
5	社会的養護の基本原則						
6	社会的養護における保育士等の倫理と責務						
7	社会的養護の制度と法体系						
8	社会的養護の仕組みと実施体系						
9	社会的養護の対象						
10	家庭養護と施設養護						
11	社会的養護に関わる専門職						
12	社会的養護に関する社会的状況						
13	施設等の運営管理						
14	被措置児童等の虐待防止						
15	社会的養護と地域福祉						
成績評価方法							
期末試験 80%、振り返りシート 20% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
子どもと社会の未来を拓く 「新・社会的養護の原理」		櫻井奈津子		青鞆社		902636-19-2	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
双方向授業を心がけるので積極的に授業に参加してください。また、社会的養護の現状や課題について、日々のニュース等 からも情報をキャッチし、福祉問題について考え理解を深めましょう。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
質問等につきましては、メールで時間等について予め連絡・確認して下さい。							

授業科目名		保育内容総論				科目コード	E2123
担当者		深澤 悦子				履修区分	※下記参照
開講年次	2年	開講期	後期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要)幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示された教育・保育の目標・基本と乳児保育の「ねらい・内容」の3視点、1歳以上児保育の5領域の「ねらい・内容」とを関連づけて理解し、各章のつながりを読み取り、教育・保育の全体的な構造を実践事例に学びながら理解する。							
(到達目標)							
①幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示された教育・保育の目標・基本、「育みたい資質・能力」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と乳児保育の「ねらい・内容」の3視点、1歳以上児保育の5領域の「ねらい・内容」とを関連づけて理解する。							
②各章のつながりを読み取り、全体構造を実践事例に学びながら理解する。							
③幼児の発達と生活に即して、「主体的・対話的で深い学び」が実現する過程を踏まえて、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法(子ども理解に基づく計画・実践・記録・省察・評価・改善)を学ぶ。							
④教材を工夫し、保育の構想に活用し、指導案を作成し、模擬保育とその振り返りを通して保育を改善する視点を学ぶ。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
※コースによって「履修区分」が違います。教育課程表をよく確認してから履修登録を行ってください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	オリエンテーション(授業の概要とすすめ方、目標・評価の方法)						
2	幼稚園教育要領における幼稚園教育の目標・基本、5領域のねらい・内容と全体構造						
3	保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領における教育・保育の目標・基本、乳児保育の「ねらい・内容」の3視点、1歳以上児の5領域の「ねらい・内容」と全体構造						
4	「育みたい資質・能力」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」「主体的・対話的で深い学び」						
5	保育の内容の歴史的変遷と社会的背景、子どもの発達・生活に即した保育内容の基本的な考え方						
6	養護(生命の保持、情緒の安定)と教育(健康、人間関係、環境、言葉、表現)が一体的に展開する保育						
7	子どもの主体性を尊重し、環境を通して行う保育と指導上の留意点						
8	発達に即した遊びや生活による総合的な保育と指導上の留意点						
9	個と集団の発達を踏まえた保育と指導上の留意点						
10	模擬保育とカンファレンス:教材の工夫と保育の構想、指導案作成、模擬保育、振り返り、改善する視点						
11	5歳児クラスの協同的取り組み(1)実践記録の分析(「主体的・対話的で深い学び」:育みたい資質・能力)						
12	5歳児クラスの協同的取り組み(2)実践記録の分析(「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」)						
13	家庭や地域、小学校等との連携を踏まえた教育・保育						
14	長時間保育、特別な配慮を要する子どもの教育・保育、多文化共生の教育・保育						
15	これからの時代の教育・保育実践の課題						
成績評価方法							
期末試験 60% レポート 10% 教材研究と保育の構想、指導案作成 30%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
幼稚園教育要領解説		文部科学省		フレーベル館		978-4-577-81447-5	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
模擬保育では、教材を工夫し、事前に担当教員に相談のうえ、指導案を作成する。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							

授業科目名		保育内容(環境)				科目コード	E2124
担 当 者		林 よし恵				履 修 区 分	※下記参照
開 講 年 次	2 年	開 講 期	前期	授 業 回 数	15 回	単 位 数	2
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標							
(概 要)保育内容(環境)は、「周囲の様々な環境に好奇心や探求心をもってかかわり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う」観点から子どもの育ちを支えていく領域である。また保育の目標には、身近な環境に対しての思考力の芽生えを培うことも掲げられている。この授業では、子どもの発達に応じて、そのためのねらい・内容の理解を深めるとともに、指導・援助、教材研究の方法を実践的に学ぶ。							
(到 達 目 標)							
1. 幼稚園教育要領・保育指針における領域「環境」のねらい・内容を理解する。							
2. 幼児の発達や学びの過程を理解し、3つの資質・能力を育むための保育内容や指導・援助を考える。							
3. 幼児の具体的な指導場面を想定した教材研究や環境構成を構成する方法を身につける。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
※コースによって「履修区分」が違います。教育課程表をよく確認してから履修登録を行ってください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講 義 内 容						
1	ガイダンス:領域「環境」の成り立ち						
2	「3つの資質・能力」「10の姿」の理解と子どもの発達を踏まえた保育						
3	領域「環境」のねらいと内容、内容の取扱い						
4	領域「環境」のねらい・内容との関連を読み取るー保育環境の様々な工夫を知る						
5	身近な植物とのふれあい						
6	夏野菜の植え付けとその育ちを体験する						
7	小動物や虫とのふれあいを体験する						
8	領域「環境」を対象とした指導計画の作成と手順						
9	思考力の芽生えを育む保育と教材研究(1)事例から子どもの思考力の育ちを読み取る						
10	思考力の芽生えを育む保育と教材研究(2)保育者の援助やかかわりの視点						
11	思考力の芽生えを育む保育と教材研究(3)試行錯誤、工夫が生まれる教材研究の工夫						
12	自然とのかかわりを体験するー自然とのかかわり・生命尊重の意識が生まれる教材研究						
13	自然とのかかわり・生命尊重を育む保育と教材研究(1)森の幼稚園の生活を理解する						
14	自然とのかかわり・生命尊重を育む保育と教材研究(2)保育者の援助やかかわりの視点						
15	生涯の環境教育について考える:レイチェル・カーソン感性の森						
成 績 評 価 方 法							
授業の最後に提出する小レポート(5×10)%							
課題レポート 50%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教 科 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBNコード	
参 考 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBNコード	
身近な自然を活かした保育実践とカリキュラム		松本信吾		中央法規出版		978-4-8058-5759-5	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
子どもたちの育ちにとって、どのような環境が必要か、自分の幼少期をふり返りながら授業に真摯に向き合って考えることに取り組んでみましょう。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
林 よし恵 saku317@fb4.so-net.ne.jp							

授業科目名		保育内容(健康Ⅰ)				科目コード	E2125
担 当 者		林 俊雄				履 修 区 分	※下記参照
開 講 年 次	2 年	開 講 期	前期	授 業 回 数	15 回	単 位 数	2
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標							
(概 要)							
幼稚園教育要領や保育所保育指針の健康領域のねらい及び内容を踏まえながら、運動発達・運動あそび、生活習慣・生活リズム、食育など子どもを取り巻く健康に関する現状と課題を理解する。また幼児の発達に即した学びの過程を踏まえた保育実践を構想することができるようにする。							
(到 達 目 標)							
① 健康領域のねらい、内容、指導上の留意点、評価の意義と方法、他領域との関連などを理解する。							
② 幼児の発達やあそびを通した活動的な学びの過程の特徴を理解したうえで、保育指導案を作成し模擬保育を行いながら、情報機器及び教材の活用法を含んだ実践的な保育構想力と指導力を高める。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
※コースによって「履修区分」が違います。教育課程表をよく確認してから履修登録を行ってください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講 義 内 容						
1	領域「健康」とは(自身健康観や WHO の定義を参照しながら「健康」のねらいと内容に迫る						
2	幼児期の子どもの健康課題と発達課題について						
3	子どもの健康と運動発達・運動あそび(神経系の発達、運動あそびの実際と留意点)						
4	子どもの健康と食育(食環境の変化、食育の実際と指導上の留意点)						
5	子どもの健康と安全管理(事故の実態、リスクとハザードの理解と指導上の留意点)						
6	子どもの健康と感染症(罹患しやすい感染症、その予防と指導上の留意点)						
7	子どもの健康とアレルギー(アレルギー増加と特徴、アレルギー対応の留意点)						
8	保育実践における評価とは(指導と評価の一体化、子どもを励ます言葉がけの効用)						
9	保育指導案づくりの要点理解と指導案作成						
10	運動あそびに関する模擬保育実践と振り返り						
11	食育に関する模擬保育実践と振り返り						
12	安全指導に関する模擬保育実践と振り返り						
13	感染症予防に関する模擬保育実践と振り返り						
14	模擬保育の総括的振り返りと保育指導案の改善・修正						
15	まとめ(子どもの健康の保持・増進を支援するための「健康だより」作成)						
成 績 評 価 方 法							
レポート 40%、保育指導案作成 40%、健康だより作成 20%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教 科 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBNコード	
幼稚園教育要領解説		文部科学省		フレーベル館		978-4-577-81447-5	
保育内容「健康」		河邊貴子他		ミネルヴァ書房		978-4-623-08533-0	
参 考 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBNコード	
保育所保育指針解説		厚生労働省		フレーベル館		978-4-577-81448-2	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
模擬保育の際には相互観察カードを記入し、そのまとめを各自行っておくこと。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
メール連絡か直接研究室へ訪ねてください。							

授業科目名		保育内容(健康Ⅱ)				科目コード	E2126
担 当 者		林 俊雄				履 修 区 分	選択
開 講 年 次	2 年	開 講 期	後期	授 業 回 数	15 回	単 位 数	2
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標							
(概 要)							
領域「健康」の中で、主として運動あそびの指導、健康的生活習慣づくり指導、食育の指導法に焦点をあてる。幼児期の子どもの発達の特性や学びの過程の特徴を考慮した指導法上の留意点や指導案作成のポイントを理解し、模擬保育を通して実践構想力と実践的指導力を高められるようにする。							
(到 達 目 標)							
① 幼児期の発達特性に応じた効果的な発達を促すための、様々な運動あそびの特質とその指導法についての理解を深めることができる。							
② 幼児期の発達特性に応じた健康的な生活習慣づくりや食育の指導のあり方についての理解を深めることができる。							
③ 保育指導案づくりと模擬保育を通して、情報機器及び教材の活用。							
④ を含んだ実践的指導力を高めることができる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
運動遊びの実技研究や模擬保育を行う際には、運動着、体育館シューズなどを必ず着用すること。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講 義 内 容						
1	幼児期の子どもの生活課題と発達・発達について						
2	幼児期の運動、身体活動(幼児期に向上させたい諸能力、させたい体験)						
3	運動あそびの種類とその指導の具体例①(鬼あそび系の指導課題を実技で確かめる)						
4	運動あそびの種類とその指導の具体例②(かけっこ系の指導課題を実技で確かめる)						
5	運動あそびの模擬保育の実施と相互評価①(鬼あそび系)						
6	運動あそびの模擬保育の実施と相互評価②(かけっこ系)						
7	運動あそびの模擬保育の実施と相互評価③(ジャンケンあそび系)						
8	健康的生活習慣指導の具体例①(手洗いとうがい指導)						
9	健康的生活習慣指導の具体例②(歯磨き指導)						
10	健康的生活習慣指導の模擬保育の実施と相互評価①						
11	健康的生活習慣指導の模擬保育の実施と相互評価②						
12	食育指導の具体例①(食べる楽しさを感じさせるための指導課題)						
13	食育指導の具体例②(食に対する関心を高めるための指導課題)						
14	食育の模擬保育の実施と相互評価						
15	まとめ(保育指導案の修正課題を明確にして改善する)						
成 績 評 価 方 法							
レポート 50%、保育指導案作成 50%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教 科 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBNコード	
幼稚園教育要領解説		文部科学省		フレーベル館		978-4-577-81447-5	
保育内容「健康」		河邊貴子他		ミネルヴァ書房		978-4-623-08533-0	
参 考 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBNコード	
保育所保育指針解説		厚生労働省		フレーベル館		978-4-577-81448-2	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
模擬保育の際には相互観察カードを記入し、そのまとめを各自行っておくこと。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
メール連絡か直接研究室へ訪ねてください。							

授業科目名		保育内容(言葉)				科目コード	E2127
担 当 者		瀧口 美絵 / 山元 隆春 / 石川 幸枝				履 修 区 分	※下記参照
開 講 年 次	2 年	開 講 期	前期	授 業 回 数	15 回	単 位 数	2
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標							
(概 要)							
保育内容のなかでも、言葉の獲得に関する知識や技術を習得し、模擬保育をととして、保育者の言葉がけやコミュニケーションのありようについても学ぶ。言語活動を重ねながら言語技能の向上を図る。子ども自らが児童文化財等に親しむ経験と保育の環境の整備を理解しつつ、特に、子どもの発達段階に応じた、絵本、紙芝居、人形劇、ペープサート、パネルシアター、エプロンシアター、手遊び等の表現活動を通して、実践的な保育内容を身に付ける。							
(到 達 目 標)							
「保育所保育指針」・「幼稚園教育要領」における領域「言葉」に示される「ねらいと内容」を理解し、その達成のために必要な知識と技能の獲得をめざす。子どもが生活やあそびの中で「聞く、話す、(読む)、(書く)」を獲得する過程を理解する。保育者としての言葉がけや言語活動の環境整備のあり方、小学校へとつながる文字、書き言葉への関心の持たせ方等を理解し、身につける。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
授業中の携帯電話は控えてください。授業に欠席された場合、当日配布資料につきましては、基本的に次回授業日に配布します。配布資料について呼びの配布は行いませんので、紛失した場合は他の学生からコピー等してもらってください。 ※コースによって「履修区分」が違います。教育課程表をよく確認してから履修登録を行ってください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講 義 内 容					担 当 者	
1	オリエンテーション					瀧口 美絵	
2	幼児期の言葉の発達					瀧口 美絵	
3	言葉の機能と子どもの発達上の意義					瀧口 美絵	
4	保育の中の書き言葉					瀧口 美絵	
5	メディアと言葉					山元 隆春	
6	保育の中での幼年文学の位置					山元 隆春	
7	子どもにとっての絵本					山元 隆春	
8	幼小連携に向けた言葉の発達過程					山元 隆春	
9	幼稚園教育要領・保育所保育指針における「言葉」のねらいと内容					石川 幸枝	
10	保育の中の言葉					石川 幸枝	
11	伝承遊びとわらべうた、童謡、唱歌、手遊び					石川 幸枝	
12	昔話とストーリーテリング					石川 幸枝	
13	紙芝居の歴史、紙芝居を演じる					石川 幸枝	
14	言語技能を育むペープサート、パネルシアター、エプロンシアター					石川 幸枝	
15	行事にまつわる言葉の指導(歌・劇・製作物)					石川 幸枝	
成 績 評 価 方 法							
期末試験 30%、実技 30%、レポート 40% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教 科 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBNコード	
演習保育内容言葉		戸田雅美		建帛社		9784767932378	
参 考 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBNコード	
幼稚園教育要領				全国社会福祉協議会		9784793512391	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
講義で配布する資料を必ずファイルし、保管しておくこと。日頃から児童文化財に触れ、扱いに慣れるようにしましょう。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
講義外の時間には、オフィスアワーかメールにおいて対応します(瀧口)・大学を通じて連絡を取ってください(石川)							

授業科目名		保育内容(人間関係)				科目コード	E2128
担 当 者		児玉 理紗				履 修 区 分	※下記参照
開 講 年 次	2 年	開 講 期	前期	授 業 回 数	15 回	単 位 数	2
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標							
(概 要)							
領域「人間関係」は人との関わりに関する領域です。本授業では自分自身の人間関係や幼少期の人との関わりについて考えることから出発し、乳幼児期における人との関わりについて学びます。また、子どもたちの主体的・対話的で深い学びの実現にとって必要な保育者のあり方をグループワークを通して考えていきます。さらに人とのかかわりを育てる具体的な指導場面を想定して指導案を作成し模擬保育を行います。こうしたことを通して人とのかかわりについて多角的に捉えていくことを大切にしたいと思います。							
(到 達 目 標)							
・領域「人間関係」のねらい及び内容、また乳幼児期の人との関わりについて理解する。							
・人との関わりを育てる指導案を作成し模擬保育を行うことができる。							
・人との関わりを育てる保育者のあり方を考えることができる。							
・グループワークや模擬保育を積極的に行うことができる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
グループワークには積極的に参加し、課題に取り組んでください。							
※コースによって「履修区分」が違います。教育課程表をよく確認してから履修登録を行ってください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講 義 内 容						
1	オリエンテーション(授業の概要及び目標、授業計画についての説明)						
2	保育の基本と領域「人間関係」						
3	0歳児の人との関わりと保育者の役割						
4	1～2歳児の人との関わりと保育者の役割						
5	3歳児の人との関わりと保育者の役割						
6	4歳児の人との関わりと保育者の役割						
7	5歳児の人との関わりと保育者の役割						
8	人との関わりを見る視点(情報機器及び教材の活用)						
9	遊びの中で育つ人との関わり～指導案作成と模擬保育～						
10	人との関わりを育てる保育の構想Ⅰ～指導案の作成～						
11	人との関わりを育てる保育の構想Ⅱ～模擬保育と省察～						
12	人との関わりが難しい子どもへの支援(教材研究を含む)						
13	他領域との関係と小学校のつながり						
14	人とのかかわりを育てる周囲の大人						
15	現代的課題						
成 績 評 価 方 法							
レポート(40%)、模擬保育(情報機器の活用を含む)の指導案と実践(40%)、授業内の課題(20%) ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教 科 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBNコード	
参 考 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBNコード	
幼稚園教育要領解説		文部科学省		フレーベル館		978-4577814475	
保育所保育指針解説		厚生労働省		フレーベル館		978-4577814482	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
授業の最初に前回の授業の簡単な確認テストを行います。配布資料を読み返し復習をしてください。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
連絡先:rk0921@hijiyama-u.ac.jp							

授業科目名		保育内容(表現Ⅰ)				科目コード	E2129
担当者		須崎 朝子				履修区分	※下記参照
開講年次	2年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要)							
『幼稚園教育要領』に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、幼児の発達や学習の過程を考慮できる保育者としての資質を養う。幼児の身体的発達、音楽的感性の育ちなどの理解を踏まえつつ、その年齢や発達段階に合った遊びや表現の技法を学ぶ。音楽あそび、楽器づくり、うたづくり、リミック、劇あそびなど、具体的な指導において活用できる表現技法の基礎を身につけるとともに、そうした表現技法を組み込んだ舞台作品を制作、発表する。							
(到達目標)							
本授業は、幼児の発達、学びの過程を理解し、幼児に寄り添った指導を行うことができる保育者の育成を目標とし、そのために必要な保育者の表現者としての資質を養うことを目的とする。音楽あそび、劇あそびなどの様々な表現技法を授業内で体験することを通して、具体的な保育の中で活用できる実践力を身につける。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
本授業は、音楽あそびや表現あそびを体験しながら学ぶ、演習形式の授業である。授業には動きやすい服装で参加してください。授業内での参加態度や発表内容を総合的に鑑みて評価するので、積極的に授業に関わること。 ※コースによって「履修区分」が違います。教育課程表をよく確認してから履修登録を行ってください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	オリエンテーション 授業スケジュールの説明						
2	『幼稚園教育要領』のねらいと内容、幼稚園教育の指導上の留意点						
3	年少児の音楽的感性と身体的発達						
4	年少児対象の音楽あそびの解説と実践						
5	年中、年長児の音楽的感性と身体的発達						
6	年中、年長児対象の音楽あそびの解説と実践						
7	幼稚園教育における評価と指導案の作成法						
8	様々な表現技法を活用した模擬保育の実践						
9	保育における即興表現の効果について						
10	保育における即興的な劇表現によるお話づくりの実践						
11	さまざまな楽器の種類とオリジナル楽器づくり						
12	鍵盤楽器による簡単な伴奏のつけ方と効果音のつけ方						
13	情報機器の活用法について、舞台作品の制作① グループ別に劇のアイディアを脚本化する						
14	舞台作品の制作② グループ別に劇の演出、練習を行う						
15	授業のまとめ、舞台作品の発表						
成績評価方法							
期末試験 50%、授業内課題 50% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
幼稚園・保育園で人気の創造性を育む音楽あそび・表現あそび		須崎朝子、林加奈(深見友紀子監修)		音楽之友社		978-4276312241	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
幼稚園教育要領		文部科学省					
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
出席状況や、授業への参加意欲、態度、個人あるいはグループによる発表などを総合的に考慮して評価します。授業内の課題に積極的に取り組むように心がけてください。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
担当教員から個別に連絡方法(Eメールなど)を教えるので、各自、進捗状況を報告しながら、積極的に質問するようにしてください。							

授業科目名		保育内容(表現Ⅱ)				科目コード	E2130
担 当 者		林 俊雄				履 修 区 分	※下記参照
開 講 年 次	2 年	開 講 期	後期	授 業 回 数	15 回	単 位 数	2
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標							
(概 要)							
幼児期の身体表現がもつ人間形成的意義についての理解を基礎にしながら、領域「表現」のうち身体表現を主としたねらい及び内容について理解を深める。また保育指導案づくりと模擬保育をセットで行い、学生同士の相互評価によって成果と課題を確認できるようにしていく。							
(到 達 目 標)							
① 「身体表現」のねらいと内容、指導上の留意点、評価の意義と方法、他領域との関連などを理解する。							
② 幼児の発達やあそびを通した活動的な学びの過程の特徴を理解したうえで、実技を通してこの時期に適した運動あそびの内容を知り、保育指導案づくりと模擬保育を通して情報機器及び教材の活用法を含んだ実践的な保育構想力と指導力を高める。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
※コースによって「履修区分」が違います。教育課程表をよく確認してから履修登録を行ってください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講 義 内 容						
1	幼児期の身体表現とは(発達の特徴と人間形成的意義をふまえてねらいと内容に迫る)						
2	器械・器具を使った身体表現あそび①(イメージから感覚づくりにつながるマット遊び)						
3	器械・器具を使った身体表現あそび②(動物歩きとお話マット)						
4	器械・器具を使った身体表現あそび③(グルーブ創作お話マット)						
5	器械・器具を使った身体表現あそび④(身体表現としてのお話鉄棒)						
6	器械・器具を使った身体表現あそびの指導①(保育指導案づくり)						
7	機械・器具を使った身体表現あそびの指導②(お話マットの模擬保育と相互評価)						
8	器械・器具を使った身体表現あそびの指導③(お話鉄棒の模擬保育と相互評価)						
9	新聞紙を使った身体表現あそび						
10	伝承あそびに見られる身体表現あそび						
11	リズムあそび(ダンス)系の身体表現あそび①						
12	リズムあそび(ダンス)系の身体表現あそび②						
13	新聞紙あそび、伝承あそび、リズムあそび(ダンス)の指導①保育指導案作り						
14	新聞紙あそび、伝承あそび、リズムあそび(ダンス)の指導②模擬保育と相互評価						
15	新聞紙あそび、伝承あそび、リズムあそび(ダンス)の指導③模擬保育と相互評価						
成 績 評 価 方 法							
レポート 50%、保育指導案作成 50%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教 科 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBNコード	
幼稚園教育要領解説		文部科学省		フレーベル館		978-4-577-81447-5	
保育と幼児期の運動あそび		岩崎洋子編、吉田伊津美他著		萌文書林		978-4-89347-274-8	
参 考 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBNコード	
保育所保育指針解説		厚生労働省		フレーベル館		978-4-577-81448-2	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
保育指導案作成→模擬保育・協議→保育指導案修正・改善という手順を踏みます。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
メールか直接研究室へ訪ねてください。							

授業科目名		保育内容(表現Ⅲ)				科目コード	E2131
担当者		國清 あやか				履修区分	※下記参照
開講年次	2年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要)							
幼稚園教育及び保育において育みたい資質・能力を理解し、幼稚園教育要領及び保育所保育指針に示された表現領域のねらい及び内容について背景となる専門領域と関連させて理解を深めるとともに、乳幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付ける。							
(到達目標)							
幼稚園教育要領及び保育所保育指針に示された幼稚園教育及び保育の基本を踏まえ、造形表現のねらい及び内容を理解するとともに、乳幼児が経験し身に付けていく内容と指導上の留意点、評価の考え方、小学校の教科等とのつながりを理解することができる。また、乳幼児の発達や学びの過程を理解し、情報機器及び教材を効果的に活用するとともに、具体的な保育を想定した指導案を作成し、模擬保育の実施と振り返りを通して、保育を改善する視点を身に付け、保育構想の向上に取り組むことができる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
実技演習の際には、汚れてもよい服装で出席すること。							
配付資料は予備を準備しません。紛失した場合は各自の責任において補充すること。							
※コースによって「履修区分」が違います。教育課程表をよく確認してから、履修登録を行ってください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	幼児教育における造形表現の発達段階の理解と重要性について						
2	遊びとの関わり「見立て遊び」						
3	遊びとの関わり「折り紙で遊ぼう」						
4	遊びとの関わり「変身遊び」						
5	素材・用具との関わり「はこを活かして」						
6	素材・用具との関わり「ビニール袋を活かして」						
7	素材・用具との関わり「クレパスを使って」						
8	季節と活動の関わり「シャボン玉であそぼう」						
9	季節の環境構成「バブルアート」						
10	季節と活動の関わり「にじみ絵」						
11	幼稚園教育要領と保育所保育指針「表現」のねらい、内容、指導上の留意点、評価について						
12	グループワークによる模擬保育 教材研究						
13	グループワークによる模擬保育 指導計画、指導案作成						
14	グループワークによる模擬保育 実施と振り返り						
15	指導案の再検討と修正						
成績評価方法							
実技演習による作品・鑑賞カード 50%、保育指導案作成 50%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
幼稚園教育要領		文部科学省		フレーベル館			
保育所保育指針		厚生労働省		フレーベル館			
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
幼稚園教育要領及び保育所保育指針を熟読し、授業と関連する内容について事前に予習しておくこと。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
第1回目の授業でお知らせします。							

授業科目名		ピアノ技法Ⅰ				科目コード	E21321
担当者		須崎 朝子・笠井 悦子・須藤 典子・宮入 響子				履修区分	選択
開講年次	1 年	開講期	通年	授業回数	30 回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要)							
初等教育、保育における実践においては、ピアノを活用して指導をしたり、保育をしたりすることが求められる。ピアノを活用した教科内容や保育内容に対応できるよう、音階や音符の知識を学び、ピアノや鍵盤ハーモニカなど鍵盤楽器の指導ができるようになるための、基礎的なピアノ表現(バイエル、子どもの歌などの演奏や弾き歌い)の技能を身につける。							
(到達目標)							
① 音階や音符の基本的知識を学び、簡単な楽譜であれば、自分で読譜、演奏できる技能の習得。							
② 「バイエルピアノ教則本」の 8 番から 35 番を読譜し、演奏できる技能の習得。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
ピアノを実際に演奏して講師の指導を受ける演習形式の授業である。授業では、毎回、各自の課題の習得状況を試験するので、課題を自学し、授業ごとに行われる試験に合格できるよう努力すること。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容			回数	講義内容		
1	オリエンテーション 授業スケジュールの説明			16	「こどものうた」から課題を選択、弾き歌いの演習②		
2	学習課題の提示と読譜の基本説明			17	バイエル 15～21 番レベルの曲の読譜とピアノ指導		
3	高音部の音名と右手の指の動かし方の習得①			18	バイエル 15～21 番レベルの曲のピアノ演奏①		
4	高音部の音名と右手の指の動かし方の習得②			19	バイエル 15～21 番レベルの曲のピアノ演奏②		
5	初歩的な右手の曲の演奏指導			20	「こどものうた」から課題を選択、弾き歌いの演習③		
6	低音部の音名と左手の指の動かし方の習得①			21	バイエル 22～28 番レベルの曲の読譜とピアノ指導		
7	低音部の音名と左手の指の動かし方の習得②			22	各自の習得状況に応じた課題曲を演習形式で発表		
8	初歩的な左手の曲の演奏指導			23	バイエル 22～28 番レベルの曲のピアノ演奏①		
9	初歩的な両手の曲の読譜指導			24	バイエル 22～28 番レベルの曲のピアノ演奏②		
10	初歩的な両手の曲の演奏指導			25	「こどものうた」から課題を選択、弾き歌いの演習④		
11	弾き歌いにおける歌唱と伴奏の指導			26	バイエル 29～35 番レベルの曲の読譜とピアノ指導		
12	「こどものうた」から課題を選択、弾き歌いの演習①			27	バイエル 29～35 番レベルの曲のピアノ演奏①		
13	バイエル 8～14 番レベルの曲の読譜とピアノ指導			28	バイエル 29～35 番レベルの曲のピアノ演奏②		
14	バイエル 8～14 番レベルの曲のピアノ演奏			29	バイエル 8～35 番の復習と演奏		
15	各自の習得状況に応じた課題曲を演習形式で発表			30	各自の習得状況に応じた課題曲を演習形式で発表		
成績評価方法							
中間実技試験 30%、期末実技試験 40%、授業内課題 30%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
標準バイエルピアノ教則本		バイエル		全音楽譜出版社		978-4111010103	
こどものうた 200		小林美実(編)		チャイルド本社		978-4805481004	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
うたとピアノの絵本(1)(2)(3)		呉暁		音楽之友社			
アキピアノ教本(1)(2)(3)		呉暁		音楽之友社			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
各自の習得状況に応じて、課題を課すので、ピアノの練習を習慣化し、授業以外の時間にも自学することによって技術の習得を目指すこと。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
担当教員から個別に連絡方法(E メールなど)を教えるので、各自、進捗状況を報告しながら、積極的に質問するようにしてください。							

授業科目名		ピアノ技法Ⅱ				科目コード	E21322
担当者		須崎 朝子・笠井 悦子・須藤 典子・宮入 響子				履修区分	選択
開講年次	2 年	開講期	通年	授業回数	30 回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要)							
初等教育、保育における実践においては、ピアノを活用して指導をしたり、保育をしたりすることが求められる。ピアノを活用した教科内容や保育内容に対応できるよう、音階や音符の知識を学び、ピアノや鍵盤ハーモニカなど鍵盤楽器の指導ができるようになるための、基礎的なピアノ表現(バイエル、子どもの歌などの演奏や弾き歌い)の技能を身につける。							
(到達目標)							
① 「バイエルピアノ教則本」の 36 番から 80 番を読譜し、演奏できる技能の習得。							
② 小学校歌唱教材や子どもの歌の弾き歌いができる技術の習得。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
ピアノを実際に演奏して講師の指導を受ける演習形式の授業である。授業では、毎回、各自の課題の習得状況を試験するので、課題を自学し、授業ごとに行われる試験に合格できるよう努力すること。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容			回数	講義内容		
1	オリエンテーション 授業スケジュールの説明			16	バイエル 57～62 番レベルの曲の読譜とピアノ指導		
2	バイエル 8～35 番レベルの曲の読譜とピアノ指導			17	バイエル 57～62 番レベルの曲のピアノ演奏		
3	バイエル 8～35 番レベルの曲のピアノ演奏			18	歌唱共通教材(第 3、4 学年)の弾き歌いの演習		
4	「こどものうた」から課題を選択、弾き歌いの演習①			19	バイエル 63～68 番レベルの曲の読譜とピアノ指導		
5	バイエル 36～42 番レベルの曲の読譜とピアノ指導			20	バイエル 63～68 番レベルの曲のピアノ演奏		
6	バイエル 36～42 番レベルの曲のピアノ演奏			21	移調の説明と実践①		
7	各自の習得状況に応じた課題曲を演習形式で発表			22	各自の習得状況に応じた課題曲を演習形式で発表		
8	「こどものうた」から課題を選択、弾き歌いの演習②			23	バイエル 69～74 番レベルの曲の読譜とピアノ指導		
9	バイエル 43～49 番レベルの曲の読譜とピアノ指導			24	バイエル 69～74 番レベルの曲のピアノ演奏		
10	バイエル 43～49 番レベルの曲のピアノ演奏			25	移調の説明と実践②		
11	歌唱共通教材(第1、2 学年)の弾き歌いの演習①			26	バイエル 75～80 番レベルの曲の読譜とピアノ指導		
12	バイエル 50～56 番レベルの曲の読譜とピアノ指導			27	バイエル 75～80 番レベルの曲のピアノ演奏		
13	バイエル 50～56 番レベルの曲のピアノ演奏			28	移調の説明と実践③		
14	歌唱共通教材(第1、2 学年)の弾き歌いの演習②			29	バイエル 36～80 番の復習と演奏		
15	各自の習得状況に応じた課題曲を演習形式で発表			30	各自の習得状況に応じた課題曲を演習形式で発表		
成績評価方法							
中間実技試験 30%、 期末実技試験 40%、 授業内課題 30%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
標準バイエルピアノ教則本		バイエル		全音楽譜出版社		978-4111010103	
こどものうた 200		小林美実(編)		チャイルド本社		978-4805481004	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
うたとピアノの絵本(1)(2)(3)		呉暁		音楽之友社			
アキピアノ教本(1)(2)(3)		呉暁		音楽之友社			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
各自の習得状況に応じて、課題を課すので、ピアノの練習を習慣化し、授業以外の時間にも自学することによって技術の習得を目指すこと。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
担当教員から個別に連絡方法(E メールなど)を教えるので、各自、進捗状況を報告しながら、積極的に質問するようにしてください。							

授業科目名		教職入門				科目コード	E2133
担当者		森下 真実				履修区分	※下記参照
開講年次	1年	開講期	後期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) 教職の意義や役割、資質能力、職務内容等についての理解を深めていく中で学生自身が自分の適性を判断し、現代社会の学校教育をめぐる諸課題をふまえながら教師として何を大切にどのような成長していくかを考えていく。							
(到達目標) (1)教職の社会的意義、(2)今日の教員に求められる役割や資質能力、(3)教諭の職務内容や研修、服務上・身分上の義務や身分保障、(4)学校内外の連携の考え方について理解する。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
日々の生活の中で、あらゆる教育問題に関心を持つようにして下さい。 配布資料を紛失した場合は、他の学生の資料をコピーさせてもらい手元に揃えておくこと。 ※コースによって「履修区分」が違います。教育課程表をよく確認してから履修登録を行ってください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	オリエンテーション 授業の概要や授業計画、評価方法等について説明を行なう。						
2	教職の意義 ～公教育の目的～						
3	教師を養成するシステム ～教職の特徴～						
4	教師に求められる資質・能力						
5	教員の職務内容① ～校務と教育課程～						
6	教員の職務内容② ～授業をつくる～						
7	教員の職務内容③ ～学級経営～						
8	教員の職務内容④ ～生徒指導～						
9	教員の職務内容⑤ ～特別活動～						
10	教員の職務内容⑥ ～道徳教育～						
11	専門職としての教師						
12	教育公務員としての教師 ～服務上・身分上の義務および身分保障～						
13	組織人としての教師 ～校内における連携～						
14	学校・家庭・地域の連携と教師						
15	学び続ける教師 ～教員研修および教師としてのキャリア～						
成績評価方法							
期末試験 60%、授業内で記入するコメントシート 40% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教師教育講座 第1巻 教職概論		曾余田 浩史(編著)		協同出版		978-4319106707	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
授業での課題等とはもとより、教育問題について日常生活でも疑問を感じたら、そのままにはせず、どのように考えるべきかを探究していきましょう。そのうえで、新聞を読んだり、他者と議論をしたりすることで自分の考えをさらに深めましょう。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
オリエンテーションの際にお知らせします。							

授業科目名		教育の原理				科目コード	E2134
担当者		杉山 直子				履修区分	必修
開講年次	1 年	開講期	前期	授業回数	15 回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要)							
教育の基本概念、すなわち「教育とは何か」について、教育成立の条件、人間の発達の独自性、家庭教育・学校教育・社会教育の在り方などについて学ぶ。加えて、教育の歴史や思想とその背景、子どものとらえ方や学校の変遷などについて理解する。以上のことを踏まえて、現在の教育の課題を把握し、これからの教育の在り方を追究する。							
(到達目標)							
教育の基本的概念を理解する。教育の歴史や思想とその背景、子どものとらえ方や学校の変遷などについて理解する。以上のことを踏まえて、現在の教育課題を把握し、これからの教育の在り方を追究しようとする。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
・私語や伏せ寝、スマートフォンの使用などで、授業の雰囲気を壊したり妨害をしたりしないようにすること。 ・よく聴くべきところはよく聴き、よく書くべきところはよく書き、発言すべきところでは発言し、応答性のある授業参加をしよう。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	教育とは何か						
2	人間と教育の関係						
3	子ども・大人とは何か						
4	家庭・学校・社会と教育						
5	なぜ教育思想から学ぶのか(社会や家庭・学校の変遷と人間教育の普遍性)						
6	西洋教育思想からの学び(古代)						
7	西洋教育思想からの学び(中世・近代)						
8	西洋教育思想からの学び(近代)						
9	西洋教育思想からの学び(現代)						
10	日本の教育思想からの学び						
11	教育制度・教育課程						
12	日本における現在の教育改革						
13	社会の変遷と教育課題						
14	現在の教育課題						
15	これからの教育(福祉との関係)						
成績評価方法							
授業内提出物 75%、レポート 25%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
哲学する教育原理		伊藤潔志 編著		教育情報出版		978-4-909378-11-8	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
現在の子どもたちにかかわる話題やニュース、教育に関係する情報を得るようにしてください。また、自分自身が経験した教育を振り返り、考察をしてみましょう。授業で学んだ知識や考え方をもとに、自分なりに考えてみましょう。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
研究室で質問・相談を受けます。オフィスアワーを利用してください。事前連絡は大学のメールアドレス(sugiyama@hcu.ac.jp)で受け付けます。							

授業科目名	教育課程論					科目コード	E2135
担当者	杉山 直子					履修区分	※下記参照
開講年次	3年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) 教育課程の基本原則について学ぶ。学校教育における小学校学習指導要領・幼稚園教育要領の位置づけを理解し、基準として各学校において編成される教育課程について、その意義や編成の方法を理解する。各学校の実情に合わせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意義を学ぶ。そのためにも、様々なカリキュラム論を学び、活用できるようにする。							
(到達目標) 教育課程の基本原則について理解する。学校教育における小学校学習指導要領・幼稚園教育要領の位置づけや、基準として各学校において編成される教育課程の意義や編成の方法を理解する。各学校の実情に合わせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意義を理解する。様々なカリキュラム論の理解と活用を図ろうとする。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
毎回の授業を大切に。資料は必要に応じて配布する。 ※コースによって「履修区分」が違います。教育課程表をよく確認してから、履修登録を行ってください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	教育課程の基本原則 ― 教育課程とは ―						
2	教育課程の基本原則 ― 教育課程の編成原理 ―						
3	小学校学習指導要領 ― 教育課程改訂の変遷 ―						
4	幼稚園教育要領 ― 教育課程改訂の変遷 ―						
5	小学校学習指導要領・幼稚園教育要領 ― 現在の教育課程の背景 ―						
6	小学校学習指導要領・幼稚園教育要領 ― 教育課程編成の目的 ―						
7	小学校学習指導要領・幼稚園教育要領 ― 教育課程の内容 ―						
8	小学校学習指導要領・幼稚園教育要領 ― 生活科、総合的な学習の時間等の意義 ―						
9	小学校学習指導要領・幼稚園教育要領 ― 保育・幼児教育と小学校教育の接続―						
10	教育課程の編成と指導計画						
11	様々なカリキュラム論						
12	カリキュラム・マネジメントの意義						
13	学校教育全体におけるカリキュラム・マネジメント						
14	カリキュラム評価						
15	振り返り						
成績評価方法							
授業内提出物 75%、小テスト 25% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
小学校学習指導要領解説 総則		文部科学省		東洋館出版社		978-4-491-03461-4	
幼稚園教育要領解説		文部科学省		フレーベル館		978-4-577-81447-5	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
小学校学習指導要領		文部科学省		東洋館出版社		978-4-491-03460-7	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
難しい内容ですが、とても重要な学びです。ノートや配布物を活用しましょう。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
研究室で質問・相談を受けます。オフィスアワーを利用してください。大学のメールアドレス (sugiyama@hcu.ac.jp) で受け付けます。							

授業科目名		教育行政学				科目コード	E2136
担当者		古賀 一博				履修区分	※下記参照
開講年次	2年	開講期	後期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要)わが国の教育が、どのような社会的、制度的枠組みの中で運用されているか、その制度的実態とそこに伏在する課題について理解します。前半は、公教育の概念や教育基本法に触れながら、現代の学校教育がどのような考え方に基づいて行われているかを理念的に検討します。後半は、わが国の教育が実際にどのように実施されているか、その制度的実態を国や地方や学校に焦点を当てて考察します。以上から、現代の教育行政の特徴や課題等について考えます。							
(到達目標)							
(1) 社会の状況とその変化が学校教育にもたらす影響について考えるとともに、国や地方や学校の制度構造と役割(機能)について理解します。							
(2) 現代教育における学校、家庭、地域社会の連携協力の重要性和、学校安全・危機管理の意義と対応方法について理解します。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
真摯な気持ちで授業に臨んで下さい。日々の生活の中で、常に教育行政の観点から教育問題を掘り起こすという研究姿勢を身につけて下さい。							
※コースによって「履修区分」が違います。教育課程表をよく確認してから履修登録を行ってください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	現代教育の諸問題						
2	わが国の学校体系						
3	公教育制度-その概念と制度的原理-						
4	わが国の教育法制①—教育法規の体系と適用原理—						
5	わが国の教育法制②—教育基本法—						
6	教育行政の概念と基本的性格						
7	教育行政の構造と機能①—文部科学省の構造と役割—						
8	教育行政の構造と機能②—教育委員会制度—						
9	学校経営の構造と過程						
10	教育課程行政						
11	教育財政—その役割と課題—						
12	社会教育行政—その役割と課題—						
13	学校安全・危機管理の意義と今後の課題						
14	わが国の教育改革の動向—教育政策の展開を中心として—						
15	諸外国の教育行政制度—制度的特徴と今日的課題—						
成績評価方法							
期末試験 70%、講義への振り返りシートないし小レポートの提出状況 30%で評価します。							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教育行財政・学校経営		古賀一博		協同出版		978-4-319-10674-5	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
新しい教育行政学		河野和清		ミネルヴァ書房		978-4-623-07037-4	
現代教育の制度と行政(改訂版)		河野和清		福村出版		978-4-571-10179-3	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
常に教育・行政問題に関する新聞記事・ニュース等に関心・興味を持つようにして下さい。次回授業で取り上げる予定の教科書の章をあらかじめ読んでおいてください。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
担当教員から連絡方法を示しますので、積極的に質問するようにして下さい。							

授業科目名	特別活動指導法					科目コード	E2137
担当者	二宮 孝司					履修区分	※下記参照
開講年次	2年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要)学校教育における特別活動の位置と意義を理解し、子どもたちの人間関係・社会参加・自立の視点から、学年や各教科との連携・協働並びに地域との連携の視野をもち、自主性を尊重した諸活動を構成するための指導方法に関する必要な知識と素養を身に付ける。その基礎的理論を学ぶと共に事例検討や指導案作成などを実際に行う。							
(到達目標)							
1)小学校の教育課程における特別活動の目標と主な内容を理解している。							
2)学級活動・児童会・クラブ活動・学校行事等の個性的な活動の構成と評価等についてその重要性を理解している。							
3)合意形成の話し合いと討議、意思決定の方法などに関する指導及び集団活動の意義と指導を理解して、例示できる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
アクティブラーニングを活かし、グループによる話し合いや実践事例の検討、指導計画の共同立案と作成などの具体的場面で、積極的に参加し、自分の意見を述べるように努める。							
※コースによって「科目区分」が違います。よく確認してから、履修登録を行ってください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	特別活動の歴史的な系譜と今日の教育実践における位置と意義						
2	教育課程における特別活動の内容構成とその指導の視点						
3	特別活動の目的(「望ましい集団活動」等)およびその活動の有する発達の意義						
4	特別活動の指導法の基礎(話し合い・討議の意義と方法、自主的態度の育成他)						
5	特別活動の実践事例の検討と中間まとめー小学校学級活動						
6	特別活動の授業展開における基礎的・具体的要件						
7	特別活動の指導計画案の作成と分析・評価(1)ー学級活動						
8	特別活動の模擬授業と分析・評価(1)ー学級活動						
9	特別活動の指導計画案の作成と分析・評価(2)ー児童会活動						
10	特別活動の模擬授業と分析・評価(2)ー児童会活動						
11	特別活動の指導計画案の作成と分析・評価(3)ークラブ活動						
12	特別活動の模擬授業と分析・評価(3)ークラブ活動						
13	特別活動の指導計画案の作成と分析・評価(4)ー学校行事						
14	特別活動の模擬授業と分析・評価(4)ー学校行事						
15	まとめとレポート						
成績評価方法							
授業内で記入するコメントシート 60%、討論や観察の内容と主体的なかわり 40% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教師教育テキストシリーズ特別活動		折出健二編		学文社		978 - 4-7620-1662-2	
小学校学習指導要領解説 特別活動編		文部科学省		東洋館出版社			
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
授業で詳しく述べるキーワードの意味等を復習すると共に、あらかじめ配布される実践事例等の資料を予習すること。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
直接研究室を訪ねるか、担当教員もしくは事務を通してメール等で連絡してください。							

授業科目名		教育方法論				科目コード	E2138
担 当 者		杉山 直子				履 修 区 分	※下記参照
開 講 年 次	2 年	開 講 期	後期	授 業 回 数	15 回	単 位 数	2
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標							
(概 要)							
教育方法の基礎的理論と実践や、これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力、それらを育成するために必要な教育方法の在り方(主体的・対話的・深い学び)について学ぶ。さらに具体的な指導技術について基礎的に学ぶ。加えて、情報機器を活用した効果的な教材作成や授業方法を身に付けるとともに、情報モラルも含めた情報活用能力の育成をするための指導法について学ぶ。							
(到 達 目 標)							
教育方法の基礎的理論と実践や、これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力、それらを育成するために必要な教育方法の在り方(「主体的・対話的・深い学び」)について理解する。基礎的な指導技術について理解する。情報機器を活用した効果的な教材作成や授業方法を身に付ける。情報モラルも含めた情報活用能力の育成をするための指導法を理解する。以上を踏まえた授業を計画する。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
主体的・対話的・深い学びを、本授業で実践すること。 ※コースによって「履修区分」が違います。教育課程表をよく確認してから、履修登録を行ってください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講 義 内 容						
1	教育方法の基礎的理論と実践 ― 教育方法の原理的考察 ―						
2	教育方法の基礎的理論と実践 ― 学級で教えることとの思想と実践 ―						
3	教育方法の基礎的理論と実践 ― 多様性からの学び ―						
4	これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力 ― グローバル化と情報活用 ―						
5	これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力 ― AIと人間 ―						
6	これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力 ― 文部科学省のとらえ方 ―						
7	主体的・対話的・深い学び ― 主体的学びとは何か ―						
8	主体的・対話的・深い学び ― 対話的学びとは何か ―						
9	主体的・対話的・深い学び ― 深い学びとは何か ―						
10	授業の構想と教師の技術 ― 教育評価と学習指導案 ―						
11	授業の構想と教師の技術 ― 教材研究・教材解釈と発問 ―						
12	授業の構想と教師の技術 ― 教具(黒板・情報機器など)の活用 ―						
13	情報活用能力の育成 ― 情報モラル ―						
14	情報活用能力の育成 ― 指導法 ―						
15	振り返り ― 指導案の作成 ―						
成 績 評 価 方 法							
提出物 75%、レポート 25%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教 科 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBN コード	
教師教育講座第9巻教育方法技術論		深澤広明編著		協同出版		978-4-319-10678-3	
参 考 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBN コード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
子供たちが授業で学ぶ意義をとらえて、そのために必要な教師の技術を身に付けよう。 教科書、配布物、ノートを自分に分かりやすいように整理しよう。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
研究室で質問・相談を受けます。オフィスアワーを利用してください。事前連絡は大学のメールアドレス(sugiyama@hcu.ac.jp)で受け付けます。							

授業科目名		教育心理学				科目コード	E2139
担当者		中條 和光				履修区分	必修
開講年次	1 年	開講期	前期	授業回数	15 回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要)							
はじめに教育を取り巻く最近の諸事情や学習者の心身の発達や学習のしくみを知ることが、教師や保育士を目指す皆さんにとってどのような意義を持つのかについて話します。講義前半では、学習心理学に基づいて、学びの基礎的なしくみや学習意欲について講義します。後半では、乳幼児期から青年期までの心身の発達について講義します。最後に、心身の発達や学習機能の個人差に応じた配慮について教育のバリアフリーの観点から講義します。							
(到達目標)							
この講義では、教師の専門性を支える基盤として、以下の項目を到達目標とします。							
(1)学習に関する基礎的知識を身につける。							
(2)幼児期から青年期にかけての心身の発達の過程と特徴を理解する。							
(3)幼児期から青年期の発達を踏まえた学習指導の基礎的考え方を理解する。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
講義では、指定した教科書に加えて、ロイノートで資料を配布します。パソコンやスマホなど、資料を閲覧できるものを持参してください。また、対面授業ではスクリーンに教材を提示しますので、視力、聴力等で配慮が必要な場合は、あらかじめ申し出てください。遠隔授業となる場合は、別途指示する受講方法に従ってください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	教育心理学について学ぶ意義(教科書第0章)						
2	学習のメカニズム 条件づけとその応用 1:古典的条件づけ(教科書第1章)						
3	学習のメカニズム 条件づけとその応用 2:道具的条件づけ、観察学習(教科書第1章)						
4	動機づけの基礎:学習意欲の成り立ち(教科書第2章)						
5	動機づけの応用:学習意欲を引き出し、持続させる指導(教科書第3章)						
6	知識獲得としての学習:記憶の分類、ワーキングメモリ(教科書第4章)						
7	対話的、主体的で深い学びを促す指導 1 対話的で深い学び:記憶の理論を活かす(教科書第5、12章)						
8	対話的、主体的で深い学びを促す指導 2 主体的な学び:メタ認知と学習方略(教科書第6、7章)						
9	指導と評価の一体化:学習評価を指導に活かす(教科書第15章)						
10	心身の発達の理論(教科書第8章)						
11	乳・幼児期の発達(教科書第9章)						
12	社会性・道徳性の発達(教科書第10章)						
13	学級集団づくり、協同学習(教科書第11章)						
14	青年期の発達:自己の形成(教科書第13章)						
15	「障がい」の理解(教科書第14章)						
成績評価方法							
期末試験と講義中に課す課題レポートを総合して評価します。期末試験は、期末レポートで代替する場合があります。ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
絶対役立つ教育心理学[第2版]		藤田哲也(編著)		ミネルヴァ書房		978-4-623-09163-8	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
小学校学習指導要領(平成29年3月公示)		文部科学省					
学習心理学		中條和光(編著)		北大路書房		978-4-7628-3048-8	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
各回の講義では、プレゼン資料や教材動画を用いた解説を行います。各回の講義内容と教科書「絶対役立つ教育心理学」の各章との対応を授業スケジュールに示しました。予習として教科書の対応章を読んでおいてください。疑問点や興味を持った点があれば、講義の際に積極的に質問してください。講義では基本となる重要なことがらを解説します。復習として教科書の対応章をもう一度学習し、疑問点が残っていたり、さらに深く学びたい事があれば、次の講義の際やメールで質問してください。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
kchujo@hiroshima-u.ac.jp							

授業科目名		生徒・進路指導論				科目コード	E2141
担当者		向居 暁 / 森下 真実				履修区分	※下記参照
開講年次	3 年	開講期	前期	授業回数	15 回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
学校現場から、児童生徒の様々な問題行動が報告されている。また、平成 29 年学習指導要領から小学校から高等学校までキャリア教育の充実が図られることになった。本授業では、学校がその教育目的を達成するための重要な機能の一つであり、児童生徒の人格形成を図る上で重要な役割を担っている生徒指導の意義や原理、体制や方法、および進路指導・キャリア教育の意義および理論と方法について理解を深め、教師に求められる基礎的基本的な実践的知識と指導能力を身につける。							
(到達目標)							
(1)今日の児童生徒の生徒指導、進路指導をめぐる様々な課題に対して、カリキュラムマネジメントの視点から具体的な指導方法を考えることができる。							
(2)生徒指導の意義及び理論を理解し、チーム学校として対応できる基礎的基本的な実践的知識と指導能力を身につける。							
(3)進路指導・キャリア教育の意義及び理論を理解し、小学校から高等学校までのキャリア形成と自己実現を図るための基礎的基本的な実践的知識と指導能力を身につける。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
授業中の私語、携帯電話等使用、遅刻、欠席は厳禁。 ※コースによって「履修区分」が違います。教育課程表をよく確認してから履修登録を行ってください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	オリエンテーションー自己の体験から生徒指導、進路指導を捉えるー					森下 真実	
2	生徒指導の現状と課題ー用語・概念の多義性、生徒指導上の諸問題ー					森下 真実	
3	生徒指導の歴史1ーアメリカのガイダンスの導入と生徒指導ー					森下 真実	
4	生徒指導の歴史2ー生活指導、道徳教育、特別活動、進路指導ー					森下 真実	
5	生徒指導の歴史3ー問題行動対策、自己指導能力の育成ー					森下 真実	
6	生徒指導の原理1ー学習指導要領における生徒指導の位置づけー					森下 真実	
7	生徒指導の原理2ー学級経営、学校経営、地域機関との連携及び学校評価ー					森下 真実	
8	生徒指導の方法1ー学級づくりと心の居場所					向居 暁	
9	生徒指導の方法2ー暴力行為、いじめ、不登校の指導・援助ー					向居 暁	
10	生徒指導の方法3ーSC、SSW、教育支援センターなど関連連携とチーム学校ー					向居 暁	
11	生徒指導及び進路指導の観点からの教育相談・心理教育プログラムの理論と方法					向居 暁	
12	進路指導の歴史ー職業指導、進路指導、ガイダンス、キャリア教育ー					向居 暁	
13	進路指導の原理ー学習指導要領における進路指導、キャリア教育の位置づけー					向居 暁	
14	進路指導の方法ーポートフォリオ、キャリアカウンセリングの実際					向居 暁	
15	これからの生徒指導、進路指導の課題とまとめ					向居 暁	
成績評価方法							
筆記試験 50%、レポート 50%による。 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
生徒指導提要(2022 年改訂版)仮称		文部科学省					
教師教育講座 第 10 巻 生徒指導・進路指導論		森田 愛子 (編著)		協同出版		978-4319106790	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
第1回目に指示する。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
オリエンテーションの際にお知らせします。							

授業科目名		教育相談				科目コード	E2142
担 当 者		尾形 明子				履 修 区 分	※下記参照
開 講 年 次	3 年	開 講 期	前期	授 業 回 数	15 回	単 位 数	2
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標							
(概 要)							
教育相談は、幼児、児童及び生徒が自己理解を深めたり好ましい人間関係を築いたりしながら、集団の中で適応的に生活する力を育み、個性の伸長や人格の成長を支援する教育活動である。教育相談にあたる上での臨床的視点を紹介した上で、保育・教育現場における教育相談のさまざまな取り組みと相談活動をめぐる問題について考えるための基本的知識を講ずる。							
(到 達 目 標)							
子どもが示す問題行動は、子ども自身の発達や人間関係、日常生活など様々な要因が関連しており、そうした子ども達への対応機会は教育現場でも増加してきている。この問題行動を心理学的に理解するとともに、本人・保護者への望ましい対応、さらには専門機関との連携等、子ども達の育ちを支援するための基本について理解を深める。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
授業中の私語・携帯電話の使用は禁止します。							
資料は当日配布しますが、予備配布はしませんので、紛失等の場合には各自の責任で他学生からコピー等もらってください。							
※コースによって「履修区分」が違います。教育課程表をよく確認してから履修登録を行ってください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講 義 内 容						
1	ガイダンス 教育相談とは						
2	子どもの心理的問題の実態						
3	基本的カウンセリング技法(1)						
4	基本的カウンセリング技法(2)						
5	子どもの支援のための精神医学的知識						
6	不登校の理解と支援						
7	発達障害の理解と支援						
8	開発的教育相談						
9	子どもの自殺予防						
10	保護者対応						
11	子どもへの関わり方のスキル学修(CARE)①						
12	子どもへの関わり方のスキル学修(CARE)②						
13	ペアレントトレーニング①						
14	ペアレントトレーニング②						
15	まとめ						
成 績 評 価 方 法							
レポート課題 70%、ロールプレイやグループディスカッションへの取り組み 30%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としません。							
教 科 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBNコード	
参 考 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
個人ワークやグループディスカッションなど、能動的に考え・発言してもらうことの多い講義です。							
教育者としての基本的な知識・技能が習得できるよう主体的に取り組んでください。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							

授業科目名	学校経営論				科目コード	E2143	
担当者	森下 真実				履修区分	選択	
開講年次	3年	開講期	後期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要)							
現在、学校教育は複雑な課題に直面し、様々な教育改革が進められている。そうした中で、いかに学校経営を行なう必要があるかを、学校経営の理論・思想についての理解を深めつつ、事例を交えながら考えていく。							
(到達目標)							
(1)学校経営に関する理論・思想を理解する。							
(2)学校の諸課題について経営的発想で考えることができる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
配布資料はファイリングして講義に持参してください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	オリエンテーション 授業の概要や授業計画、評価方法等についての説明						
2	経営とは何か						
3	学校経営の理論・思想(1)効率性・合理性の追求						
4	学校経営の理論・思想(2)人間性の追求						
5	学校経営の理論・思想(3)社会的価値の追求						
6	学校経営の理論・思想(4)省察と対話の追求						
7	学校組織における問題解決(1)グループワークの方法						
8	学校組織における問題解決(2)グループでの企画立案						
9	学校組織における問題解決(3)グループでの討議						
10	学校組織における問題解決(4)グループでの発表準備						
11	学校組織における問題解決(5)グループごとの発表・討議						
12	これからの学校(1)校長のリーダーシップ						
13	これからの学校(2)学校の危機管理						
14	これからの学校(3)地域・保護者との連携						
15	講義のふりかえりとまとめ						
成績評価方法							
レポート 60% 授業の提出物 40%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
配布資料を用いて、授業のポイントを予習・復習してください。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
オリエンテーションの際にお知らせします。							

授業科目名		道徳教育指導法				科目コード	E2144
担当者		杉山 直子				履修区分	※下記参照
開講年次	3年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要)							
学校教育で行われる道徳教育は、教育基本法、学校教育法に定められた教育の根本精神を踏まえていることを理解する。また、自己・人間としての生き方を主体的に考え、判断し、行動し、自律・自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を育成することを目的とすることを理解する。道徳の意義や原理等を踏まえて、学校教育全体を通じて行う道徳教育及びその要となる道徳科の目標や内容、指導計画等を理解し、教材研究や学習指導案作成、模擬授業を通し、実践的な指導力を身に付ける。							
(到達目標)							
道徳の意義を理解し、学校教育における道徳教育の位置づけや道徳科の目標・内容・方法について理解する。道徳科の指導計画を立て、指導案を作成し、模擬授業を行うことができる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
・授業においては、受講にふさわしく社会性を伴う、道徳的な態度・行動を判断し参加すること。 ・課題等の提出期限を守ること。 ※コースによって「履修区分」が違います。教育課程表をよく確認してから、履修登録を行ってください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	道徳の本質						
2	道徳教育の本質						
3	人間の心の成長と道徳教育						
4	道徳性の発達に関する理論						
5	道徳教育の歴史(明治から戦前まで)						
6	道徳教育の歴史(戦後から現在まで)						
7	現代における道徳教育の課題(いじめ)						
8	現代における道徳教育の課題(情報モラルなど)						
9	学習指導要領における道徳教育。道徳科の目標・内容						
10	道徳教育の指導計画						
11	道徳科の特質を生かした指導方法と学習評価						
12	道徳科の学習指導案作成						
13	道徳科模擬授業と授業改善						
14	道徳科模擬授業と授業改善						
15	振り返り						
成績評価方法							
授業内提出物 30%、指導案 30%、模擬授業 30%、小テスト 10% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
自ら学ぶ道徳教育(2021 新版)		押谷由夫編著		教育情報出版		978-4-909378-40-8	
小学校学習指導要領解説 道徳編		文部科学省		東洋館出版社		978-4-908255-35-9	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
これまで学校教育で受けた道徳教育の経験を想起しておきましょう。また、日常的に道徳について考え、自分自身の考え方や態度、行動などを振り返ってみましょう。教科書、配布物、ノートを自分に分かりやすいように整理しましょう。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
研究室で質問・相談を受けます。オフィスアワーを利用してください。大学のメールアドレス (sugiyama@hcu.ac.jp) で受け付けます。							

授業科目名		初等国語科教育法				科目コード	E2145
担当者		瀧口 美絵				履修区分	※下記参照
開講年次	2 年	開講期	後期	授業回数	15 回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要)							
この講義を通して、小学校における国語科授業の構成、実施、評価にかかわる知識、能力を身につけさせる。特に、教材研究、授業計画、授業分析等の実際を通して、実践に即した学習指導案を作成し、模擬授業を行ってみる。模擬授業を重ねながら授業能力の向上を図るとともに、実際の授業実践を観察し、授業の態度・話法・板書・発問など、教室における授業技術の基礎を習得する。							
(到達目標)							
学習指導案の作成手順を理解し、小学校における単元学習指導計画を構想する。その上で、実践に即した学習指導案を作成し、模擬授業の実践的技術を習得する。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
学習指導要領、ノート、ファイル、辞書等の指定した持参物を忘れないこと。							
『初等国語』で使用した資料ファイルを持参すること。							
※コースによって「履修区分」が違います。教育課程表よく確認してから、履修登録を行ってください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	小学校国語科の授業構成と実施方法						
2	小学校国語科各学年の評価方法						
3	教材研究(1) 教材選択						
4	教材研究(2) 教材解釈						
5	教材研究(3) 授業計画						
6	教材研究(4) 発問計画						
7	学習指導案作成(1) 作成の手順						
8	学習指導案作成(2) 学習指導研究の方法						
9	学習指導案作成(3) 学習指導案の完成						
10	授業観察(1) 授業観察のあり方						
11	授業観察(2) 態度・話法・板書・発問						
12	授業の実際(1)授業展開の方法						
13	授業の実際(2)ワークシートの制作法と活用法						
14	授業の実際(3)ICT 活用の方法とその実際						
15	教育実習の心得						
成績評価方法							
模擬授業 50%、レポート 40%、講義への振り返りシートの提出や講義への貢献度（積極的な発言）等 10% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
小学校学習指導要領解説 国語編		文部科学省		東洋館出版社		9784491023717	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
講義で配布する資料を必ずファイルし、保管しておくこと。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
講義外の時間においては、研究室、メールにおいて対応します。							

授業科目名		初等社会科教育法				科目コード	E2146
担 当 者		佛圓 弘修				履 修 区 分	※下記参照
開 講 年 次	2 年	開 講 期	後期	授 業 回 数	15 回	単 位 数	2
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標							
(概 要)							
優れた小学校社会科の授業の実践例を参考にしながら、それぞれの理論と実践(目標・内容・方法)を理解させ、自らが授業の構想(教材研究、学習指導案作成等)を立てる演習、模擬授業等も行う。							
※本科目は、実務経験のある担当者が、実務体験を含む内容で構成される科目である。							
(到 達 目 標)							
小学校社会科教育の理論と実践(目標・内容・方法)について解説することを通して、優れた小学校社会科の授業を構成し、展開していくことのできる実践的知識・態度・能力を培う。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
・毎時間、印刷資料を配布し、資料の読解を行うとともに、本時の学習問題の探究やワークショップを行います。							
・配布資料については、予備の配布は行いませんので、紛失等をした場合は、各自の責任において他の学生からコピー等をしてもらってください。 ※コースによって「履修区分」が違います。教育課程表をよく確認してから履修登録を行ってください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講 義 内 容						
1	小学校社会科教育の基本的性格と課題(1 年次の『初等社会』の講義を振り返り)						
2	小学校社会科の目標と内容—小学校学習指導要領「社会」の解説						
3	小学校社会科の教材研究と単元構成						
4	小学校社会科の学習指導計画と授業展開						
5	小学校社会科の授業原理						
6	小学校社会科の地域学習(小学校 3 年生)の学習指導と模擬授業						
7	小学校社会科の地域学習(小学校 4 年生)の学習指導と模擬授業						
8	小学校社会科の国土学習の学習指導と模擬授業						
9	小学校社会科の産業学習の学習指導と模擬授業						
10	小学校社会科の環境学習の学習指導と模擬授業						
11	小学校社会科の政治学習および国際理解学習の学習指導と模擬授業						
12	小学校社会科の歴史学習の学習指導と模擬授業						
13	小学校社会科の授業技術						
14	小学校社会科授業における情報通信技術の活用方法						
15	まとめ—小学校社会科授業の優れた実践に学ぶ						
成 績 評 価 方 法							
授業内で記入するコメントシート 60%、討論や観察の内容と主体的なかかわり 40%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教 科 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBNコード	
小学校社会科教育		社会認識教育学会編		学術図書出版社		978-4-7806-0177-0	
小学校学習指導要領解説 社会編		文部科学省		日本文教出版株式会社		978-4-536-59009-9	
社会科教科書「新しい社会」(3～6 年)		北敏夫, 小原友行		東京書籍株式会社		ISBN978-4-487-10523-6	
参 考 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
・小学校社会科授業に興味・関心を持ち、授業計画や実践記録を読んでいることが望ましい。							
・日常的に社会問題や教育に関する新聞・テレビのニュースに興味・関心を持ち、その背景を考えておくことが望ましい。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
・直接研究室を訪ねるか、担当教員もしくは事務を通してメール等で連絡してください。							

授業科目名		初等算数科教育法				科目コード	E2147
担当者		近藤 毅				履修区分	※下記参照
開講年次	3 年	開講期	前期	授業回数	15 回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要)							
小学校算数科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された小学校算数科の学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、様々な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身に付ける。							
(到達目標)							
1 学習指導要領における小学校算数科の目標及び主な内容ならびに全体構造を理解している。							
2 個別の学習内容について指導上の留意点を理解している。							
3 小学校算数科の学習評価の考え方を理解している。							
4 小学校算数科と背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用することができる。							
5 子供の認識・思考、学力などの実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。							
6 小学校算数科の特性に応じた情報機器及び教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用することができる。							
7 学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成することができる。							
8 模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身に付けている。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
・授業には指示により次の文具を準備する。(ものさし、三角定規、分度器、のり、ハサミ、30 ポケットの A4 クリアファイル)							
・毎回、資料プリントを配布します。止むを得ず授業を休む場合は、コピー等で入手すること。							
・各授業の最後に振り返りの記入や課題を出します。これを通して出席確認とします。							
※コースによって「履修区分」が違います。教育課程表をよく確認してから履修登録を行ってください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	ガイダンス、小学校算数科の意義						
2	学習指導要領における小学校算数科の目標・内容・全体構造						
3	小学校算数科における数学的な見方・考え方と数学的活動(1)						
4	小学校算数科における数学的な見方・考え方と数学的活動(2)						
5	小学校算数科における学習評価と個への対応						
6	小学校算数科と中・高等学校数学科との連携						
7	小学校算数科における児童の学習の実際や特徴(1)						
8	小学校算数科における児童の学習の実際や特徴(2)						
9	小学校算数科における ICT の活用						
10	教材研究の方法						
11	教材研究						
12	学習指導案の作成と模擬授業						
13	模擬授業						
14	模擬授業の振り返り、学習指導の改善						
15	学習指導の改善についての共有、まとめ						
成績評価方法							
試験 40%、毎回の授業後のレポートや確認問題などの状況 60% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
学習指導要領解説算数編		文部科学省		日本文教出版		978-4536590105	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料		国立教育研究所教育課程研究センター		東洋館出版社		978-4-491-04122-3	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
配布資料と授業記録ノートを復習する。また、算数・数学関連の本を読む。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
メール: tkond@hcu.ac.jp							

授業科目名		初等理科教育法				科目コード	E2148
担当者		白神 聖也				履修区分	※下記参照
開講年次	2年	開講期	後期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要)							
小学校理科の、目的・内容・方法・評価・授業構成などの理論と実践を概説し、理科の授業を構成する方法および技術についての講義を行う。模擬授業も行わせる。							
(到達目標)							
1. 小学校の理科の教育方法と教育課程の意義を、学習指導要領に沿って理解し、小学校理科の授業を構成し、指導案を作成するとともに、授業実践するための知識や能力を獲得する。							
2. 理科を教える教師としての深い資質・能力とともに、カリキュラム・マネジメントができる能力を獲得する。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
配布資料については、当日以外の配布は行いませんので、欠席した場合や紛失した場合は、他の学生からコピーをさせてもらってください。							
※コースによって「履修区分」が違います。教育課程表をよく確認してから、履修登録を行ってください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	小学校理科の目標						
2	小学校理科の内容						
3	小学校理科の内容と留意点(1) 中学年						
4	小学校理科の内容と留意点(2) 高学年						
5	初等理科教育史						
6	子どもの認識・思考・学習心理と現代の理科教育論						
7	理科教育課程の編成と評価						
8	理科授業の方法、実験法						
9	理科授業の教材・教具、理科教育学の研究分野						
10	理科授業と情報通信技術の活用(ICTの活用)						
11	理科指導案の書き方						
12	理科模擬授業(1)						
13	理科模擬授業(2)						
14	理科模擬授業(3)						
15	理科の評価と支援を要する児童のケア						
成績評価方法							
期末試験 80%、レポート 20%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
小学校学習指導要領解説 理科編		文部科学省		大日本図書		978-4-477-01949-9	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
小学校新学習指導要領ポイント総整理―理科―		片平克弘・塚田昭一		東洋館出版社		978-4-491-03400-3	
小学校新学習指導要領の展開―理科編―		塚田昭一・八嶋真理子・田村正弘		明治図書		978-4-18-328110-4	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
講義後には、授業内容の復習をしてください。また、指定参考書の購入を勧めます。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
担当教員の研究室に来てください。							

授業科目名		初等生活科教育法				科目コード	E2149
担 当 者		廣中 眞由美				履 修 区 分	※下記参照
開 講 年 次	2 年	開 講 期	前期	授 業 回 数	15 回	単 位 数	2
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標							
(概 要)							
学習指導要領を踏まえ、小学校生活科学習指導理論や指導方法について解説するとともに、授業構成、授業方法について、実践をもとに考察する。							
(到 達 目 標)							
小学校生活科の基礎的指導理論を理解し、具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身に付ける。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
・ノートをきちんととり、欠席した場合、欠席時分も写しておくこと。							
・授業中の携帯電話使用や私語、無断の入退出は禁止する。やむをえぬ遅刻、早退は、必ず本人が口頭で理由を伝える							
※コースによって「履修区分」が違います。教育課程表をよく確認してから履修登録を行ってください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講 義 内 容						
1	オリエンテーション 授業概要						
2	生活科の学びとカリキュラムマネジメント						
3	生活科の目標・内容構成と授業における配慮事項						
4	指導案の書き方 内容(7) 飼育栽培						
5	指導案に基づく観察指導の実践						
6	模擬授業計画と指導案作成						
7	内容(1) 模擬授業・指導案検討						
8	内容(3)(7) 模擬授業・指導案検討						
9	内容(4) 模擬授業・指導案検討						
10	内容(6)(7) 模擬授業・指導案検討						
11	内容(3)(8) 模擬授業・指導案検討						
12	内容(2)(7) 模擬授業・指導案検討						
13	内容(8) 模擬授業・指導案検討						
14	内容(9) 模擬授業・指導案検討						
15	初等生活科の指導における現状と課題						
成 績 評 価 方 法							
授業の振り返り、模擬授業 30%、期末試験 70%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教 科 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBNコード	
あたらしいせいかつ上・下				東京書籍			
小学校学習指導要領解説生活編		文部科学省		日本文教出版株式会社			
参 考 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBNコード	
新しい生活科教育の創造		朝倉淳・永田忠道編著		学術図書出版			
今だからこそ「子ども発」の学びを		行田稔彦・船越勝編著		新評論			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
予習、復習で、小学校学習指導要領解説生活編と児童用教科書をよく読み、理解をはかること。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
連絡は掲示板で行います。なるべく質問や相談は、授業前後の休憩時間等に行ってください。							

授業科目名		初等音楽科教育法				科目コード		E2150
担 当 者		須崎 朝子				履 修 区 分		※下記参照
開 講 年 次		3 年	開 講 期	前期	授 業 回 数	15 回	単 位 数	2
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標								
(概 要)								
小学校学習指導要領における音楽科の位置づけ、教育目標を理解し、学習指導要領に沿った授業を展開できる基礎知識や技能を身につける。本授業は、①学習指導要領における音楽科の位置づけの理解、②学校現場で授業を行うために必要な知識と技能の習得、③実際に授業指導を演習によって体験、という3つの部分から構成される。								
(到 達 目 標)								
小学校音楽科における教育の目標と内容を理解し、音楽科の授業を展開する上で必要とされる音楽理論、技法、心構えなど、音楽科における指導方法の基礎を習得することを目標とする。								
履修における注意事項(受講ルールなど)								
教科書に沿って、「小学校学習指導要領」の内容を説明していくので、事前に該当箇所の予習を心がけるようにしてください。また、歌唱共通教材に日頃から親しみ、自分で歌ったり、伴奏したり、弾き歌いすることを習慣化するようにしてください。 ※コースによって「履修区分」が違います。教育課程表をよく確認してから履修登録を行ってください。								
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。								
回数		講 義 内 容						
1		オリエンテーション 小学校学習指導要領の全体構造の解説						
2		小学校学習指導要領における音楽科の位置づけと教育目標						
3		小学校学習指導要領「音楽」の解説						
4		指導内容「A 表現」1 歌唱、2 器楽、3 音楽づくり						
5		指導内容「B 鑑賞」の意義と鑑賞教材の選択観点について						
6		新学習指導要領における〔共通事項〕新設の意義						
7		ICTを活用した双方向児授業の実践、音楽アプリや楽譜制作支援ソフトの活用法						
8		音楽学習の評価の基準と観点、評価方法						
9		授業指導法演習 歌唱の学習と指導						
10		授業指導法演習 歌唱教材研究						
11		授業指導法演習 器楽の学習と指導						
12		授業指導法演習 各楽器の奏法と指導法						
13		授業指導法演習 音楽づくりの学習と指導						
14		授業指導法演習 鑑賞の学習と指導						
15		授業指導法演習 〔共通事項〕を生かした授業づくり						
成 績 評 価 方 法								
期末試験 30%、レポート 30%、授業内課題 40% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。								
教 科 書								
書 名		著 者		出 版 社		ISBNコード		
改訂版 最新 初等科音楽教育法 2017 年告示「小学校学習指導要領」準拠		初等科音楽教育研究会編		音楽之友社		978-4276821026		
小学校学習指導要領解説音楽編		文部科学省						
参 考 書								
書 名		著 者		出 版 社		ISBNコード		
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)								
毎回の授業後、授業で扱った範囲の教科書や『小学校学習指導要領』を復習すること。また、授業指導法演習においては、そうした内容を念頭におきながら、指導内容を組み立てること。								
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。								
担当教員から個別に連絡方法(Eメールなど)を教えるので、各自、積極的に質問するようにしてください。								

授業科目名		図画工作科教育法				科目コード	E2151
担当者		國清 あやか				履修区分	※下記参照
開講年次	2 年	開講期	後期	授業回数	15 回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要)							
図画工作科の目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された図画工作科の内容について理解を深めるとともに、様々な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場면을想定した授業設計を行う方法を身に付ける。							
(到達目標)							
図画工作科の学習指導要領に示された目標や「表現」及び「鑑賞」の内容、指導上の留意点、学習評価について理解するとともに、学問領域との関係を理解し、教材研究に活用することができる。また、基礎的な学習指導理論を理解し、情報機器及び教材を効果的に活用するとともに、具体的な授業場면을想定した授業設計と学習指導案を作成し、模擬授業の実施と振り返りを通して、授業改善の視点を身に付ける。							
※本科目は、実務経験のある担当者が、実務体験を含む内容で構成される科目である。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
実技演習の際には、汚れてもよい服装で出席すること。							
配付資料は予備を準備しません。紛失した場合は各自の責任において補充すること。							
※コースによって「履修区分」が違います。教育課程表をよく確認してから、履修登録を行ってください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数							
1	図画工作科の目標						
2	図画工作科の内容「表現」「鑑賞」						
3	「表現 造形遊び」に関する学習指導 目標、内容、指導方法						
4	「表現 絵に表す」に関する学習指導 目標、内容、指導方法						
5	「表現 立体に表す」に関する学習指導 目標、内容、指導方法						
6	「表現 工作に表す」に関する学習指導 目標、内容、指導方法						
7	「鑑賞」に関する学習指導 目標、内容、指導方法						
8	鑑賞活動における ICT 活用						
9	図画工作科における評価の理論と実際						
10	学習指導案の立案と教材研究の方法						
11	教材研究と学習指導案の作成						
12	模擬授業の実施と振り返り(低学年)						
13	模擬授業の実施と振り返り(中学年)						
14	模擬授業の実施と振り返り(高学年)						
15	学習指導案の再検討と修正						
成績評価方法							
実技演習による作品・鑑賞カード 30%、指導案 50%、試験 20%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
文部科学省『小学校学習指導要領解説 図画工作科編』平成 30 年		文部科学省		日本文教出版			
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
小学校学習指導要領解説を熟読し、授業と関連する内容について事前に予習しておきましょう。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
第 1 回目の授業でお知らせします。							

授業科目名	初等体育科教育法					科目コード	E2152
担 当 者	林 俊雄					履 修 区 分	※下記参照
開 講 年 次	3 年	開 講 期	前期	授 業 回 数	15 回	単 位 数	2
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標							
(概 要)							
学習指導要領に示されている目標・内容と指導法の関連に目を向けながら、授業構成上の課題やポイントについて習得できるようにする。とりわけ運動・スポーツが有する運動的、文化的価値と学習者の発達課題や生活課題を考慮した教材研究・教材づくりが重要になることを事例を通して理解できるようにする。また学習指導案作りと模擬授業を実施し、情報機器及び教材の活用を含んだ授業構想力と実践的指導力を培うようにする。本科目は、実務経験のある担当者が、実務体験を含む内容で構成される科目である。							
※本科目は、実務経験のある担当者が、実務体験を含む内容で構成される科目である。							
(到 達 目 標)							
① 学習指導要領に示された目標や内容について、また目標、内容、方法に一貫性のある体育授業づくりのための課題とポイントについて正しく理解する。							
② 教材研究、教材づくりの意義と方法について具体的に理解する。							
③ 学習指導案作りと模擬授業を通して、情報通信技術の活用を含んだ具体的な授業場面を想定した授業設計力と実践的指導技術を高める。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
※コースによって「履修区分」が違います。教育課程表をよく確認してから履修登録を行ってください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講 義 内 容						
1	体育科は何のための教科か(自身の体育教科観を基に目標、内容、全体構造を考察)						
2	体育科の歴史(学習指導要領の変遷を辿りながら、目標、内容と留意点を押さえる)						
3	教材・教具づくりとは①(教科内容と教材の峻別と相関について)						
4	教材・教具づくりとは②(典型教材を事例とした教材研究や教材づくりの実際について)						
5	体育の授業における個と集団①(運動能力や認識発達の個人差をどうとらえるか)						
6	体育の授業における個と集団②(学習集団による課題解決的学習の展開方法とは)						
7	学習指導研究①(学年、領域、教材を決めて単元レベルでの学習指導案を作成する)						
8	学習指導研究②(低学年対象の模擬授業を実施し意見交流を行って課題を共有する)						
9	学習指導研究③(中学年対象の模擬授業を実施し意見交流を行って課題を共有する)						
10	学習指導研究④(高学年対象の模擬授業を実施し意見交流を行って課題を共有する)						
11	学習指導研究⑤(保健領域の模擬授業を実施し意見交流を行って課題を共有する)						
12	学習課題研究⑥(総括として学習指導案づくりの課題と授業実践上の課題を整理する)						
13	体育授業における情報通信技術の活用方法について						
14	体育科の評価はどうあるべきか						
15	まとめ(理想の体育授業像とそれを実現するための自分の課題について)						
成 績 評 価 方 法							
レポート 50%、学習指導案作成 50%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教 科 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBNコード	
小学校学習指導要領解説体育編		文部科学省		東洋館出版		978-4-491-03467-6	
(改訂版) 初等体育科教育の研究		木原成一郎他		学術図書出版社		978-4-7806-0676-8	
参 考 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
7回目から12回目までは、学習指導案作成→模擬授業→学習指導案修正という手順を踏んで進めます。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
メールか直接研究室へ訪ねてください。							

授業科目名		初等家庭科教育法				科目コード		E2153
担 当 者		富田 道子				履 修 区 分		※下記参照
開 講 年 次		2 年	開 講 期	後期	授 業 回 数	15 回	単 位 数	2
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標								
(概 要)								
小学校家庭科の学習内容を概説し、具体的な授業場面を想定した指導方法や授業構成について検討する。その際、生活に役立つものの製作や調理実習、実験などを導入し、指導上の留意点を理解しながら授業設計を行う方法を身に付ける。								
(到 達 目 標)								
小学校家庭科は、児童が家族の一員として家庭生活を充実向上させようとする実践的態度を育成することにある。								
本授業では、家庭科の目標及び主な内容、指導方法および学習評価についての理解を深め、ICT(情報通信技術)を活用しながら、家庭・社会を取り巻くさまざまな課題を念頭に、広い視野で家庭科が指導できるようになることを目指す。								
履修における注意事項(受講ルールなど)								
スマートフォンは出さないなど、最低限のルールを守って下さい。								
毎回の授業で小レポートを課します。								
衣生活実習に係る費用は、自己負担とします。								
※コースによって「履修区分」が違います。教育課程表をよく確認してから履修登録を行ってください。								
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。								
回数	講 義 内 容							
1	ガイダンス 家庭科の目標と目指す資質・能力							
2	食生活実習「ごはんとみそ汁」実習から考える授業							
3	衣食住の生活と消費生活・環境							
4	衣生活実習(1)実習指導法							
5	衣生活実習(2)生活を豊かにするための布を用いた製作							
6	学習評価の目的・方法							
7	学習指導案の構成と指導上の留意点							
8	家庭科の授業をつくる(1)ーワークシートを活用							
9	家庭科の授業をつくる(2)ー学習指導案を作成する							
10	模擬授業①							
11	模擬授業②							
12	模擬授業③							
13	模擬授業④							
14	模擬授業⑤							
15	学習指導の改善とまとめ							
成 績 評 価 方 法								
小レポート 40%、提出物 30%、試験 30%								
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。								
教 科 書								
書 名		著 者		出 版 社		ISBNコード		
新しい家庭5・6				東京書籍		978-4-487-10490-1		
小学校学習指導要領解説		文部科学省		東洋館出版社		978-4-491-02374-8		
参 考 書								
書 名		著 者		出 版 社		ISBNコード		
明日の授業に使える 小学校家庭科		澤田悦子		大月書店		978-4-272-41197-9		
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)								
配布された資料はその日のうちに復習し、しっかりファイル・保管すること。								
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。								
第1回の授業で説明します。								

授業科目名		初等英語科教育法				科目コード	E2165
担当者		戸谷 敦子				履修区分	※下記参照
開講年次	3年	開講期	後期	授業回数	8回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要)本授業においては、初めに学習指導要領を概観しながら、教育現場における教育課程編成の在り方や教育課程全体の中における外国語教育の位置づけについて学んでいく。授業で扱うテーマによっては、模擬授業への取組、またそのためのグループワーク、討論を実施する。							
【重点項目】							
(1)小学校外国語教育に係る背景知識や主教材、小・中・高等学校の外国語教育における小学校の役割、多様な指導環境について理解する。							
(2)児童期の第二言語習得の特徴について理解する。							
(3)実践に必要な基本的な指導技術を身に付けるとともに、情報機器及び教材を活用した授業モデルを考える。							
(4)実際の授業づくりに必要な知識・技術を身に付ける。							
(到達目標)小学校における外国語活動(中学年)・外国語(高学年)の学習、指導、評価に関する基本的な知識や指導技術を身に付ける。							
(1)学習指導要領を理解し、主として小学校における教育課程編成の在り方を理解することができ、学習指導要領における小学校での外国語教育の位置づけを理解できる。							
(2)情報機器及び教材を活用するとともに、四技能五領域の指導方法を理解することができる。また、ALT等とのチーム・ティーチングによる指導の在り方やICT等の効果的な活用、指導に生かすことができる学習状況の評価について理解できる。							
(3)主として小学校における授業を想定した学習指導案を作成することができる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
英語辞書持参(電子辞書可)、携帯使用は禁止							
※コースによって「履修区分」が違います。教育課程表をよく確認してから、履修登録を行ってください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	小学校「外国語活動」「教科 外国語」指導理論：・小学校における英語教育の経緯とねらい・学習内容と指導方法(現状と課題)						
2	言語活動(音声に慣れ親しむ活動)の体験・指導法：・歌やチャンツの活用方法・ゲーム的な活動の活用方法・デジタル教材を活かした活動(ICT・映像を用いて)						
3	言語活動の体験・指導法：・Activity(インタビュー、クイズ、発表など)の指導方法						
4	言語活動(音声と文字をつなぐ活動)の体験・指導法：・アルファベットを使った活動と指導方法・英語教育における小中連携						
5	単元・授業の組み立て方、Classroom English						
6	模擬授業指導案作成						
7	模擬授業①、模擬授業をもとに考察						
8	模擬授業②、模擬授業をもとに考察						
成績評価方法							
学習指導案 25%、模擬授業 25%、授業内ワークシート及び小テスト 50% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
Let's Have Fun Teaching English from Theory to Practice		Yayoi Obara, Noriko Toyoda, Mari Takahashi, Steven Rogers		南雲堂		978-4-523-17893-4	
小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 外国語活動・外国語編		文部科学省		開隆堂		978-4-304-05168-5	
New Horizon Elementary 6		アレン玉井光江、他		東京書籍		978-4-487-10587-8	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
小学校英語の教育法：理論と実践		アレン玉井光江		大修館書店		978-4-469-24548-6	
New Horizon Elementary 5		アレン玉井光江、他		東京書籍		978-4-487-10585-4	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
日頃から英語に触れる機会をつくることや目標(英検、TOEFL など)を決めて勉強に臨むと良いです。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
授業後、またはオフィスアワーを利用して下さい。							

授業科目名		総合的な学習の時間指導法				科目コード	E2154
担当者		白神 聖也 / 伊東 陽子				履修区分	※下記参照
開講年次	3年	開講期	後期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) 総合的な学習の目的、種類、内容、方法、評価を概説し、授業の構成について考察する。また、指導案の作成などを通して実践の幅を広げ、新たな授業の創造をして、模擬授業から課題を探る。							
(到達目標) 1. 総合的な学習の時間のねらいと意義、授業の種類・内容や授業方法、評価方法を理解する。 2. 総合的な学習の実践例を会得し、自身で授業を創造的に構成できるようになる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
配布資料については、予備の配布は行いませんので、紛失等した場合は、各自の責任において、他の学生からコピーなどをさせてもらってください。 ※コースによって「履修区分」が違います。教育課程表をよく確認してから、履修登録を行ってください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	総合的な学習のねらいと意義(オリエンテーション)					白神 聖也	
2	総合的な学習の目標と種類・内容					白神 聖也	
3	総合的な学習の方法と他教科との関連					白神 聖也	
4	総合的な学習と教師の役割					伊東 陽子	
5	年間教育課程での位置づけと指導計画の作成					伊東 陽子	
6	遊びを通じた学習と教材・教具の工夫					伊東 陽子	
7	資料収集の方法と情報教育・プログラミング学習との関連(ICTの活用を含む)					伊東 陽子	
8	総合的な学習の評価と育成する資質・能力					伊東 陽子	
9	プレゼンテーション・報告書作成の指導					伊東 陽子	
10	外部との連携					伊東 陽子	
11	小論文・作文の指導, 時事問題					白神 聖也	
12	ディスカッション、ディベート					白神 聖也	
13	学習指導案の書き方					白神 聖也	
14	模擬授業(1)					白神 聖也	
15	模擬授業(2)					白神 聖也	
成績評価方法							
試験 40% レポート・ワークシート 60% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
小学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編		文部科学省		東洋館出版		978-4-491-03468-3	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
小学校新学習指導要領の展開 総合的な学習編		田村 学		明治図書		978-4-18-328912-4	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
講義後には、授業内容の復習をしてください。また、上記の参考書や関連資料などに目を通すことを勧めます。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
担当教員の研究室に来てください。							

授業科目名		ICT 活用の理論と実践				科目コード	E2180
担 当 者		二宮孝司				履 修 区 分	※下記参照
開 講 年 次	2 年	開 講 期	後期	授 業 回 数	8 回	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標							
(概 要)							
情報通信技術を効果的に活用した学習指導や校務の推進の在り方、並びに児童に情報活用能力(情報モラルを含む)を育成するための指導法に関する基礎的な知識・技能を身に付ける。							
(到 達 目 標)							
1. 情報通信技術の活用の意義と理論を理解する。							
2. 情報通信技術を効果的に活用した学習指導や校務の推進の在り方について理解する。							
3. 児童に情報活用能力(情報モラルを含む。)を育成するための基礎的な指導法を身に付ける。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
ICT を活用しますので、操作手順などを確認し丁寧に扱ってください。							
※コースごとで履修区分が異なりますので、教育課程表で確認してください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講 義 内 容						
1	情報通信技術の活用の意義と教師の役割						
2	学校における ICT 環境の整備と校務の推進における情報通信技術の活用						
3	遠隔・オンライン教育の意義と情報モラル						
4	情報活用能力の実際①(学習場面に応じた指導事例 デジタル教科書、デジタルコンテンツ等)						
5	情報活用能力の実際②(情報通信機器の基本的操作)						
6	情報活用能力の実際③(情報通信機器の応用)						
7	情報通信技術を活用した授業における学習指導案の作成						
8	模擬授業(電子黒板、小型教材提示装置、タブレット等の活用)						
成 績 評 価 方 法							
毎回の授業後のレポート 60% 指導案作成 40%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教 科 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBN コード	
毎回の講義資料 教員の指定したもの							
参 考 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBN コード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
配布資料等を用いて、授業のポイントを予習・復習してください。							
教員との連絡方法							
メール連絡か直接研究室へ訪ねてください。							

授業科目名		特別支援教育総論				科目コード	E2167
担当者		湯浅 恭正				履修区分	※下記参照
開講年次	1 年	開講期	後期	授業回数	15 回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
特別支援教育の基礎的な概念を押さえながら、特別支援教育制度の背景と展開を概説する。そして、特別支援教育の場としての特別支援学校・学級、通級指導教室、そして通常学級の現状を講義し、また特別支援学校の社会的・経営的課題、自立活動等の意義、さらに特別ニーズのある子ども理解とインクルーシブ教育の課題、生涯学習や保護者や関連機関との連携の在り方等を講義する。							
特別支援教育の制度と理念を理解し、特別支援教育の歴史と思想を基盤にした指導の基本を理解することを通して、特別支援教育の営みの変遷を理解する。さらに特別なニーズのある子どもとインクルージョンの原則、保護者や地域との連携の在り方を理解しながら、現代の特別支援学校の社会的事項への基本的知識・関心・意欲・態度を身につける。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
積極的に討論などに参加すること。							
※コースによって「履修区分」が違います。教育課程表をよく確認してから、履修登録を行ってください。							
授業スケジュール							
回数	講義内容						
1	この講義のガイダンス-特別支援教育を学ぶために						
2	特別支援教育の理念-特殊教育から特別支援教育へ						
3	インクルーシブ教育システムと特別支援教育への展開						
4	インクルーシブ教育を目指す教育実践と理論						
5	特別支援学校の機能と役割						
6	障害児保育・特殊教育の歴史的展開と特別支援教育制度の成立と展開						
7	現代社会が要請する特別支援学校の課題						
8	特別支援教育の原理と思想						
9	特別支援学校・学習の思想・理論と実践						
10	特別なニーズのある子どもの今日の状況と特別支援学校教育の課題						
11	特別支援教育における教育課程の制度						
12	近年における特別支援教育の動向						
13	特別支援教育における自立活動・教科の位置づけと実践						
14	特別支援学校の学校経営・学級経営の在り方						
15	特別支援教育にかかる関係機関との連携の在り方						
成績評価方法							
毎回の小報告(20%)、最終の総括的報告(80%)で評価する。受験資格を満たしていない場合は評価の対象にしない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
特別支援学校教育要領・学習指導要領解説		文部科学省		開隆堂		978-4-304-04229-4	
よくわかる特別支援教育		湯浅恭正(編)		ミネルヴァ書房		978-4-623-08125-7	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
毎回、講義内容を振り返り、①よく学べたこと、②さらに考えてみたいことをまとめておくこと。							
教員との連絡方法							
研究室に連絡すること。							

授業科目名		知的障害児の心理				科目コード	E2168
担当者		加藤 弘美				履修区分	※下記参照
開講年次	2年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要)							
知的障害児に関わる、福祉・教育の施策・歴史的変遷についての知識を習得する。その上で、心理特性、行動特性、認知特性など心理機能について理解し、特性に合わせた支援について考察を深める。また、適応行動の困難さを把握し、理解するとともに、家庭や医療機関、その他関係機関と連携していくための知見を習得する。							
(到達目標)							
1. 知的障害の心理特性・行動特性・認知特性などの基礎的な知識を学び、理解する。							
2. 観察や検査を通して知的障害のある幼児、児童又は生徒一人ひとりの知的障害の状態や適応行動の困難さ及び認知の特性を把握することを理解する。							
3. 家庭や医療機関、その他関係機関との連携の重要性について理解する。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
スマートフォンの使用、居眠り、私語等の迷惑行為は禁止します。また、授業に必要なものは、机上に置かないでください。 ※コースによって「履修区分」が違います。教育課程表をよく確認してから、履修登録を行ってください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	知的障害児教育の歴史的変遷、知的障害に関連する法律や制度						
2	知的障害とは(定義・発生要因と併存・合併症)						
3	知的障害児の認知特性(視知覚)と発達支援						
4	知的障害児の音声言語と発達支援						
5	知的障害児のコミュニケーション支援						
6	知的障害児の記憶と数概念の発達支援						
7	知的障害児の注意特性と動機づけの発達支援						
8	知的障害児の運動発達と発達支援						
9	知的障害に関連する障害(肢体不自由・てんかん)						
10	知的障害に関連する障害(ダウン症)						
11	知的障害に関連する障害(自閉症)						
12	知的機能のアセスメント						
13	支援や指導に活かす検査結果の解釈						
14	適応行動の困難さの把握と支援						
15	家庭や医療機関、その他関係機関との連携、授業のまとめ						
成績評価方法							
期末試験 70% 授業内提出物 30%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
指定しない。適宜資料を配布する。							
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
適宜紹介します。							
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
事前に次回の講義に関わる資料を配布する場合は、必ず予習をすること。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
メールあるいは、オフィスパワーに訪問してください。							

授業科目名		知的障害児の生理・病理				科目コード	E2169
担当者		西山 逸子				履修区分	※下記参照
開講年次	2年	開講期	前期	授業回数	8回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要)							
脳の構造や機能の局在について概説後、知的障害をきたす主要な疾患の病態生理や症状の経年的変化などについて詳述する。さらに、特別支援教育の現場で知的障害のある子どもに対して必要とされる配慮や対処法、注意点について解説する。							
(到達目標)							
特別支援学校の教員に求められるレベルの中枢神経系の構造や局在性機能、知的障害をきたす疾患の病態生理や臨床症状についての基本的知識を修得する。知的障害児の発達過程や日常生活上の困難さなども理解したうえで、個々の子どもの障害の程度に応じた有効な教育方法や配慮・支援法などについて自ら考える力を身につける。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
※コースによって「履修区分」が違います。教育課程表をよく確認してから履修登録を行ってください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	知的障害 総論	定義、診断基準と鑑別、原因や分類など					
2	知的障害の生理・病理	脳の構造・機能局在と知的障害との関連など					
3	知的障害の生理・病理	先天的要因(染色体異常など)					
4	知的障害の生理・病理	先天的要因(代謝異常症など)					
5	知的障害の生理・病理	周生期要因(未熟児出生およびその併存症など)					
6	知的障害の生理・病理	後天的要因(頭蓋内感染症・脳症など)					
7	知的障害の生理・病理	後天的要因(脳血管障害・頭部外傷など)					
8	知的障害の生理・病理	併存しやすい障害・二次障害およびその対処法など					
成績評価方法							
評価はテスト(100%)とする。評価基準は授業で取り扱った事項が十分に修得できた否かで判断する。 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
発達障害児の医療・療育・教育		松本昭子/土橋圭子		金芳堂		9784765315999	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
子どもの教育等に関連する職業資格の取得を目指す学生として、日頃より子どもの健康や医療・福祉に関する見識を深めるように心がけてください。さまざまな障害のある子どもの病態を正しく理解し、すべての子どもが充実した学校生活を過ごせるように考えていきましょう。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							

授業科目名		肢体不自由児の心理・生理・病理				科目コード	E2170
担 当 者		船橋篤彦、佐倉伸夫				履 修 区 分	※下記参照
開 講 年 次	2 年	開 講 期	通年	授 業 回 数	15 回	単 位 数	2
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標							
(全体目標)							
第 1～8 回は、肢体不自由児の発達過程や心理的特徴を中心に概説し、幼児、児童又は生徒一人ひとりの実態を捉える視点の獲得を目指す。また、家庭や関係機関との連携の意義についても理解を深める。							
第 9～15 回は、肢体不自由児の生理・病理的特徴について、脳性麻痺、脊髄疾患、筋疾患、骨疾患に関する特徴の概説と学校での活動の支援方法を理解し、可能であれば、医療的ケア児支援法の成立を受けて医療的ケアの実践を体験する。							
(一般目標)							
幼児児童生徒一人ひとりの肢体不自由の状態や感覚機能の発達、知能の発達及び認知の特性を把握する。さらに、ヒトの運動は錐体路より構成されていることを理解し、肢体不自由の原因となる疾患の位置づけを理解し、学校活動での障害となる施設設備のバリアを改善する対処法を学習する。また、医療的ケアや肢体不自由児に使用する装具などの知識を得る。							
(到達目標)							
1)肢体不自由児の発達の様相について姿勢・運動からコミュニケーションまで多面的に捉えることができる。2)肢体不自由の原因となる疾患を理解し、学校生活で生じる問題が何かを理解する 3)バリアとなる机、椅子、階段、トイレなどの施設設備の改善方法を学習する 4)主治医や家庭と情報を共有し、薬剤内服の補助ができるように、薬剤知識、あるいは使用装具の使用法の基本情報を得るとともに、可能であれば医療的ケアを習得するために見学体験をする							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
※コースによって「履修区分」が違います。よく教育課程表を確認してから、履修登録を行ってください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講 義 内 容					担 当 者	
1	肢体不自由の定義および調和的発達について					船橋 篤彦	
2	肢体不自由児における感覚機能の発達について					船橋 篤彦	
3	肢体不自由児における姿勢・運動発達について					船橋 篤彦	
4	肢体不自由児における認知発達について					船橋 篤彦	
5	肢体不自由児における情動・社会性の発達について					船橋 篤彦	
6	肢体不自由児におけるコミュニケーション発達について					船橋 篤彦	
7	肢体不自由児における知的機能の発達について					船橋 篤彦	
8	肢体不自由児の育ちを支える連携について(家庭や医療との連携を中心に)					船橋 篤彦	
9	肢体不自由の生理・病理概説 定義と原因疾患					佐倉 伸夫	
10	脳性まひの生理・病理的特徴と支援法					佐倉 伸夫	
11	二分脊椎の生理・病理的特徴と支援法					佐倉 伸夫	
12	脊髄性筋委縮症の生理・病理的特徴と支援法					佐倉 伸夫	
13	筋ジストロフィの生理・病理的特徴と支援法					佐倉 伸夫	
14	先天性骨疾患の生理・病理的特徴と支援法					佐倉 伸夫	
15	後天性骨疾患の生理・病理的特徴と支援法					佐倉 伸夫	
成 績 評 価 方 法							
学生に対する評価：知識習得の「確認テスト」(毎回の授業終了後の小テスト)(50%)と「単位認定課題」(定期試験)(50%)により評価を行う。但し資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教 科 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBNコード	
参 考 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBNコード	
インクルーシブとQOLを考える肢体不自由教育		韓 昌完, 小原 愛子		Asian Society of Human Services 学会出版部		978-4-908023-00-2	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
各担当教員からアナウンスをします。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
各担当教員からアナウンスをします。							

授業科目名		病弱児の心理・生理・病理				科目コード	E2171
担当者		滝川 国芳、佐倉 伸夫				履修区分	※下記参照
開講年次	2 年	開講期	後期	授業回数	15 回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(全体目標)							
小児の慢性疾患の病態生理の基本について解説し、学習及び日常生活の中で医療を必要とする子どもの支援について概説する。							
(一般目標)							
学校生活を送る病弱児の疾患数は治療の進歩とともに多岐に渡り、できるだけ多くの原因となる疾患を理解するとともに、学校活動制限を伴う病弱児については、主治医や家庭と情報共有し、適切に活動制限ができるよう学習する。さらには、突然死、けいれん、ショックなどの緊急事態に対処できるように体験学習する							
(到達目標)							
・病弱児の主要な疾患に関する生理・病理的特徴を理解し、説明することができる。							
・学校生活の中で医療を必要とする子どもの支援について理解するとともに、支援方法については主治医家族と連携を密にし、管理指導表を基本とする活動を指導できるように学習する。							
・学校生活で病弱児が起こしうる緊急事態(突然死、けいれん、呼吸困難など)について、救命救急法を学習体験する。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
※コースによって「履修区分」が違います。よく教育課程表を確認してから、履修登録を行ってください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	オリエンテーション・ガイダンス					滝川 国芳	
2	病弱児が抱える心理社会的課題					滝川 国芳	
3	発達段階における心理社会的課題					滝川 国芳	
4	教育と医療との連携					滝川 国芳	
5	保護者やきょうだいの心理と支援					滝川 国芳	
6	病弱教育における自立活動の実際					滝川 国芳	
7	病弱児の心理的安定のための ICT 活用					滝川 国芳	
8	教育と医療との連携					滝川 国芳	
9	病弱児となる代表的小児慢性疾患の特徴					佐倉 伸夫	
10	小児悪性腫瘍の生理・病理的特徴の理解と支援					佐倉 伸夫	
11	小児循環器疾患(突然死関連)の生理・病理的特徴の理解と支援					佐倉 伸夫	
12	呼吸器アレルギー疾患疾患の生理・病理的特徴の理解と支援					佐倉 伸夫	
13	小児腎臓病の生理・病理的特徴の理解と支援					佐倉 伸夫	
14	小児糖尿病、肥満の生理・病理的特徴の理解と支援					佐倉 伸夫	
15	てんかんの生理・病理的特徴の理解と支援					佐倉 伸夫	
成績評価方法							
授業参加態度（30％）：授業をよく聞き、積極的な受講態度で臨んでいるか。							
定期試験（70％）：到達目標に達しているか。ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
標準「病弱児の教育」テキスト改訂版		日本育療学会（編著）		ジアース教育新社			
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
各担当教員からアナウンスします。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
各担当教員からアナウンスします。							

授業科目名		肢体不自由児教育				科目コード	E2173
担当者		水田 弘見				履修区分	※下記参照
開講年次	2年	開講期	後期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) ○肢体不自由者の発達と原因疾患の相関について理解する。 ○特別支援学校及び小学校等の教育課程の編成について理解する。 ○肢体不自由の状態に応じた指導法の実践について理解する。							
(到達目標) 我が国における肢体不自由教育の黎明期から今日までの経緯と肢体不自由者の状態の変化について講義する。その中で、肢体不自由の特徴や配慮事項について理解を深める。 肢体不自由教育の教育課程は、肢体不自由者の知的障害の有無やその状態と深い関わりがあることを講義する。その中でICT活用や医療的ケア支援について理解を深める。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
※コースによって「履修区分」が違います。よく教育課程表を確認してから、履修登録を行ってください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	わが国における肢体不自由教育のはじまり						
2	公立養護学校整備特別措置法の今日までの肢体不自由教育の歩み						
3	体育・機能訓練から自立活動まで						
4	肢体不自由者である児童生徒を教育する特別支援学校及び特別支援学級の教育課程について						
5	肢体不自由者の視認知の特徴と指導について						
6	上肢に障害がある児童生徒の指導について						
7	片麻痺のある児童生徒の指導について						
8	両麻痺及片麻痺のある児童生徒の指導について						
9	教科用図書の使用に係る留意事項について						
10	図画工作、美術、音楽の指導について						
11	体育の指導と自立活動の指導について						
12	安全な給食について						
13	補装具及びコミュニケーション機器の理解と活用について						
14	養護教諭、学校医との連携について						
15	本授業のまとめ(多様化する児童生徒の教育ニーズに応えていくために)						
成績評価方法							
振り返り小テスト 60%(15点×4回) 定期試験 40% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
「特別支援学校学習指導要領」		文部科学省					
「特別支援学校学習指導要領解説」		文部科学省		開隆堂出版			
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
肢体不自由教育指導法概論テキスト、重度重複障害教育(試案)、特別支援学校学校医の手引き		水田弘見					
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							

授業科目名		病弱児教育				科目コード	E2174
担当者		滝川 国芳				履修区分	※下記参照
開講年次	3年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要)							
日本の病弱教育における病弱児への指導法について、明治時代から今日までの病弱教育、病気の種類の変遷、病弱教育の意義、今後の課題を通して、特別支援教育の観点から概説する。併せて病弱教育の充実のための課題と具体的展開の方策について論ずる。							
(到達目標)							
・病弱児を対象とする特別支援学校、小中学校の特別支援学級の教育課程の編成方法と弾力的運用について説明できる。 ・病弱児への指導法、病弱児の自己管理支援について正しく理解し、学校教育における具体的場面での指導方法を説明できる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
※コースによって「履修区分」が違います。教育課程表をよく確認してから、履修登録を行ってください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	学校教育における病弱教育の位置づけ						
2	病弱教育の歴史と制度(1) 明治時代から第二次世界大戦前						
3	病弱教育の歴史と制度(2) 第二次世界大戦後から現在						
4	病弱教育の対象となる主な疾患						
5	病弱教育における教育課程(1) 学習指導要領の変遷						
6	病弱教育における教育課程(2) 教育課程の編成及び実施						
7	病弱教育における教科指導(1) 小学部・中学部段階における指導の工夫						
8	病弱教育における教科指導(2) 高等部段階における指導の工夫						
9	病弱教育における自立活動と病弱児への自己管理支援						
10	病弱教育における個別の支援計画						
11	心身症・精神疾患等児童生徒の教育						
12	病弱教育における教育の評価						
13	病弱教育におけるICT活用						
14	病弱教育における教材教具						
15	病弱教育の課題と今後の展望						
成績評価方法							
授業態度・授業への参加度 30%、コメントペーパー10%、課題レポートの提出 20%、定期試験 40% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
標準「病弱児の教育」テキスト 改訂版		日本育療学会(編著)		ジアース教育新社			
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
特別支援教育の基礎・基本 2020		独立行政法人国立特別支援教育総合研究所		ジーニアス教育新社			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							

授業科目名		保育者論				科目コード	E2155
担 当 者		松尾 竜				履 修 区 分	※下記参照
開 講 年 次	1 年	開 講 期	後期	授 業 回 数	15 回	単 位 数	2
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標							
(概 要) 保育者の職務内容や役割等に関する知識・理解を深め、保育者としての専門性や意欲、自覚を養い、保育者のあるべき姿を考察する。							
(到 達 目 標) 1. 保育者の役割と職務について理解する。 2. 保育者の資質と専門性について理解する。 3. 保育者の倫理について理解する。 4. 保育者の連携・協働について理解する。 5. 地域との連携・協働について理解する。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
※コースによって科目区分が違います。よく確認してから履修登録を行ってください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講 義 内 容						
1	ガイダンス(授業の進め方、授業の内容、評価の方法、受講諸注意)						
2	保育者とは一求められる保育者像―①						
3	保育者とは一求められる保育者像―②						
4	保育者の仕事とその一日						
5	保育者としての倫理						
6	保育者としての資質と能力						
7	保育者としての専門性―①						
8	保育者としての専門性―②						
9	ビデオ視聴―主体的な子どもの遊び―						
10	保育者の連携・協働―共に育ち合う関係を目指して―						
11	子どもの育ちの危機と子育て支援						
12	地域社会との連携・協働―内から外へ―						
13	子どもの気持ちを読み取る記録と保育の可視化						
14	子どもの命を守るために―知る、考える、予防する―						
15	生涯学び続ける保育者						
成 績 評 価 方 法							
授業後の小レポート 30%、期末レポート 70%							
教 科 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBNコード	
※レジュメ、資料を配布する。							
参 考 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBNコード	
アクティベート保育学02 『保育者論』		大豆生田啓友・秋田喜代美・汐見稔幸編著		ミネルヴァ書房		978-4-623-08434-0	
はじめて学ぶ保育③ 『保育者論』		山下文一編著		ミネルヴァ書房		978-4-623-07964-3	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
毎回、授業後に小レポートを提出してもらうので、授業をよく聞き理解しておくこと。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
基本はメールでお願いします。必要に応じて電話、面談等での相談も受け付けます。							

授業科目名		保育原理				科目コード	E2156
担当者		深澤 悦子				履修区分	選択
開講年次	1 年	開 講 期	後期	授 業 回 数	15 回	単 位 数	2
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標							
(概 要)							
保育の意義および目的、保育に関する法令や制度を理解し、『保育所保育指針』『幼保連携型認定こども園 教育・保育要領』を中心に保育に関する基礎的基本的な知識を習得する。保育という営みを歴史的知見から考察し理解するとともに、現状や課題について理解する。保育原理では、保育に関する基本的な内容を総合的に学び、保育の専門性を深めていく基盤を培う。							
(到 達 目 標)							
1. 保育の意義および保育所保育指針における保育の基本について理解する。 2. 保育に関する法令および制度を理解する。 3. 保育の内容及方法の基本について理解する。 4. 保育の思想と歴史的変遷について理解する。 5. 保育の現状と課題について考察する。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
講義で、わからないことがある場合は、どんな些細なことでも、質問しましょう。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講 義 内 容						
1	保育の意義および理念						
2	子どもの最善の利益と保育(子ども家庭福祉を含む)						
3	日本の保育の歴史と思想						
4	諸外国の保育の歴史と思想						
5	保育に関する法令および制度						
6	保育所保育指針における保育の基本						
7	保育の目標・内容・方法						
8	保育の環境構成						
9	保育内容の構成の基本方針						
10	保育の社会的役割と責任 一家庭・地域との連携						
11	保育の社会的役割と責任 一子育て支援と保育実践						
12	全体的な計画および各計画との関連と基本的視点						
13	乳児、3 歳未満児の保育内容と指導						
14	3 歳以上児の保育内容と保幼小の連携						
15	保育の現状と課題						
成 績 評 価 方 法							
提出物 30%、期末試験 70%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教 科 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBNコード	
保育所保育指針幼保連携型認定こども園 教育・保育要領		全国保育士会編		全国社会福祉協議会		978-4-7935-1239-1	
		内閣府					
実践を創造する 保育原理 第2版		豊田和子編		みらい			
参 考 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
・『保育所保育指針』『幼保連携型認定こども園 教育・保育要領』、配付資料の予習(シラバスに沿って学ぶ項目についてよく読み、疑問点を見つけておく)・復習(分からなかったことを調べ、講義内容をまとめる)をすること。 ・子どもの姿、保護者の姿、保育士の姿をイメージしながら受講してください。身近な子どもの姿を捉え、子どもを理解するとともに、保育のありようを考察していきましょう。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
担当教員に直接確認してください。							

授業科目名	保育の計画と評価					科目コード	E2157
担当者	深澤 悦子					履修区分	選択
開講年次	2年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) 全体的な計画(保育課程)の編成、保育計画に関する基礎的基本的な理解を深め、保育計画を具体的に構想していくための実践的な力量を培う。							
(到達目標) 1. 保育内容の充実と質の向上に関する保育の計画と評価について理解する。 2. 全体的な計画(保育課程)の編成と指導計画の作成について理解し、具体的に構想し作成する。 3. 計画、実践、省察、評価、改善の過程について全体構造を循環的に捉え、理解する。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	カリキュラムの基礎理論						
2	保育所における保育の計画と評価の意義						
3	保育所以外の児童福祉施設における計画と評価の意義						
4	計画、実践、省察、評価、改善の過程の循環による保育の質向上						
5	保育所保育指針と幼稚園教育要領						
6	全体的な計画(保育課程)と保育計画						
7	全体的な計画(保育課程)の編成と展開						
8	指導計画の作成と留意事項						
9	指導計画の作成と展開						
10	指導案の作成と実践						
11	保育の省察および保育記録						
12	保育士および保育所の自己評価						
13	保育の計画の再編成						
14	生活の発達の連続性をふまえた保育要録						
15	指導計画・保健計画・食育計画との関連						
成績評価方法							
提出物およびミニテスト 40%、期末試験 60% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
保育所保育指針幼保連携型認定こども園 教育・保育要領		全国保育士会編		全国社会福祉協議会		978-4-7935-1239-1	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
・『保育所保育指針』『幼保連携型認定こども園 教育・保育要領』、配付資料の予習(シラバスに沿って学ぶ項目についてよく読み、疑問点を見つけておく)・復習(分からなかったことを調べ、講義内容をまとめる)をすること。 ・適宜資料を配付しますので、「保育課程論」のファイルを1冊用意し、ファイリングすること。 ・子どもの姿、保護者の姿、保育士の姿をイメージし、具体的な保育の計画や展開を構想しましょう。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
担当教員に確認してください。							

授業科目名		乳児保育Ⅰ				科目コード	E2158
担当者		権田 あずさ				履修区分	選択
開講年次	2年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要)							
乳児保育の理念や役割、保育内容、環境構成、及び3歳未満の子どもの発達等を学修し、子どもと保育者との関係性を基盤とした乳児保育における、確かな実践力を身につける。							
(到達目標)							
① 乳児保育の意義・目的と歴史の変遷及び役割等について理解できる。							
② 保育所、乳児院等多様な保育の場における乳児保育の現状と課題について理解できる。							
③ 3歳未満児の発達を踏まえた保育の内容と運営体制について理解できる。							
④ 乳児保育における職員間の連携・協働及び保護者や地域の関係機関との連携について理解できる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
・卒業要件としては選択科目ですが、保育士資格の取得をめざす人にとっては、必修科目です。							
・授業中の私語及び、スマートフォン、パソコン等の使用は認めません。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	ガイダンス(授業の概要、授業の目標、評価の方法など)、乳児保育とは何か						
2	乳児保育の理念と歴史						
3	関係性を基盤とした乳児の発達						
4	6ヶ月未満の子どもの育ちと保育内容						
5	6ヶ月から1歳3か月の子どもの育ちと保育内容						
6	1歳3か月から2歳未満の子どもの育ちと保育内容						
7	2歳の子どもの育ちと保育内容						
8	保育所及び認定こども園における乳児保育						
9	乳児院における乳児保育						
10	地域型保育事業における乳児保育						
11	乳児保育の指導計画						
12	観察・記録及び自己評価						
13	一人一人の発達を促す生活と遊びの環境						
14	職員間及び、保護者、保健・医療機関とのパートナーシップ						
15	乳児保育の現状と課題						
成績評価方法							
授業内課題 30%、受講態度 30%、試験 40%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としません。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
乳児保育演習ブック		松本峰雄 監修		ミネルヴァ書房		978-4-623-07704-5	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
0123 発達と保育 一年齢から読み解く子どもの世界-		松本博雄／常田美穂／川田学／赤木和重		ミネルヴァ書房		978-4-623-06356-7	
乳児の発達と保育：遊びと育児		園と家庭を結ぶ「げんき」編集部		エイデル研究所		978-4-87168-492-7	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
「いーぐる」で3歳未満の子どもと遊ぶ機会を積極的に作り、子ども理解につとめましょう。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							

授業科目名		乳児保育Ⅱ				科目コード	E2166
担当者		権田 あずさ				履修区分	選択
開講年次	3年	開講期	前期	授業回数	8回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要)							
保育士と子どもとの関係の重要性をふまえ、受容的で応答的な関わりを実践的に学ぶ。また子どもの発達にあった援助や遊びの実際を体験し、保育計画の立案や環境設定を構想する。							
(到達目標)							
① 3歳未満児の発育・発達の過程や特性を踏まえた援助や関わりの基本的な考え方について理解できる。							
② 養護及び教育の一体性を踏まえ、3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境について、具体的に理解できる。							
③ 乳児保育における配慮の実際について、具体的に理解できる。							
④ 上記①～③を踏まえ、乳児保育における計画の作成について、具体的に理解できる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
・乳児保育Ⅰの単位取得者を対象としています。							
・卒業要件としては選択科目ですが、保育士資格の取得をめざす人にとっては、必修科目です。							
・授業中の私語及び、スマートフォン、パソコン等の使用は認めません。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	3歳未満児における保育者との関係の重要性						
2	個々の子どもに応じた援助や受容的で応答的な関わり						
3	乳児保育における配慮の実際						
4	子どもの主体性を尊重する保育と自己の育ち						
5	子どもの体験と学びの芽生え						
6	乳児保育における遊びと環境の重要性						
7	乳児保育の指導計画と環境構成の実際						
8	プレゼンテーションとまとめ						
成績評価方法							
授業内課題 50%、授業への参加（発言や実演など） 50%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
乳児保育Ⅰで使用した教科書を続けて使用します。							
参考文献、教材等は適宜提示							
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							

授業科目名		幼児理解の理論と方法				科目コード	E2159
担当者		深澤 悦子				履修区分	※下記参照
開講年次	3年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要)							
幼児教育方法の思想や理論を学び、『幼稚園教育要領』や『幼保連携型認定こども園 教育・保育要領』をふまえ、幼児理解についての知識を身につけ、考え方や基礎的態度を理解する。幼稚園における幼児の生活やあそびの実態に即して、幼児の発達や学びについての原理や方法を具体的に理解する。							
(到達目標)							
1. 幼児理解の意義および発達や学びを捉える原理を理解している。							
2. 幼児理解を深めるための教師の基礎的な態度や方法を理解している。							
3. 観察と記録の意義や目的・目的に応じた観察方法等の基礎的な事柄を例示することができる。							
4. 保護者の心情と基礎的な対応の方法を理解している。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
※コースによって「履修区分」が違います。教育課程表をよく確認してから履修登録を行ってください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	オリエンテーション						
2	子どもと向かい合うということ						
3	幼児の発達と生活・あそび						
4	幼児理解の方法						
5	子どもとあそび						
6	あそびと学び						
7	幼児の生活						
8	教師のタクト						
9	幼児教育方法の展開とタクト						
10	幼児教育における個と集団						
11	あそびの展開						
12	観察と記録の目的と方法						
13	保護者・子育て支援						
14	保幼小の連携						
15	教師の専門性						
成績評価方法							
提出物 30%、期末試験 70%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
幼稚園教育要領解説		文部科学省		フレーベル館		978-4-577-81447-5	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
発達の「場」をつくる		上野ひろ美		高文堂出版			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
・シラバスに従いながら予習、復習(講義をまとめる、わからないことは調べるなど)を行う。							
・子どもの発達、あそびや生活に関する書物を読むこと。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
・担当教員と確認してください。							

授業科目名		障害児保育				科目コード	E2160
担当者		加藤 弘美				履修区分	選択
開講年次	3年	開講期	後期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要)							
障害のある子どもの障害特性・発達特性、また保育上の配慮点についての知識を学び、演習などを通して実践を行う基礎的力量を形成する。							
(到達目標)							
①障害概念と障害児保育の歴史的変遷や施策について学び、障害児及びその保育について理解する。							
②障害児の障害特性・発達特性について理解し、実際の保育を想定した配慮や環境構成、職員同士の等について考える力をつける。							
③家庭や関係機関との連携、また職員間の連携・協働の意義について理解する。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
スマートフォンの使用、居眠り、私語等の迷惑行為は禁止します。また、授業に必要なものは、机上に置かないください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	障害児保育を支える理念						
2	インクルーシブの理念と合理的配慮 知的障害児の理解と援助						
3	肢体不自由・重症心身障害・医療的ケアを必要とする子どもの理解と援助						
4	視覚、聴覚、言語障害の理解と援助						
5	発達障害の理解と援助①ASD						
6	発達障害の理解と援助②ADHD、SLD						
7	生活課題等、特別なニーズのある子どもの理解と援助						
8	子ども同士のかかわり・育ちあい						
9	指導計画および個別の支援計画作成、職員間の連携・協働						
10	保護者に対する理解および支援						
11	制度の理解、福祉・教育(幼小連携)における現状と課題						
12	地域の専門機関との連携						
13	小学校との連携						
14	障害のある子どもの保育における健康と安全・環境構成の工夫(支援事例)						
15	障害のある子どもの保育における現状と課題、授業のまとめ						
成績評価方法							
期末試験 60%、授業内ミニレポート 40%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
障害児保育 演習ブック		松本峰雄・増南太志		ミネルヴァ書房		978-4-623-09068-6	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
事前に次の講義に関わる部分を読んで、予習をすること、また、講義後には毎回の授業で取り上げる一つ一つの事柄を自分との関わりで考えてほしい。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
メールあるいは、オフィスアワーに訪問してください。							

授業科目名		社会的養護Ⅱ				科目コード	E2162
担当者		吉原 直樹				履修区分	選択
開講年次	3年	開講期	後期	授業回数	8回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要)							
子ども理解を踏まえ、社会的養護を必要とする子ども本人への援助のみならず、家庭や地域、関係機関との連携の意義と方法、施設養護及び家庭養護の実際について理解する。また、社会的養護にかかわる相談援助の方法・技術、計画・記録・自己評価の実際を理解し、具体的な虐待防止と家庭支援が実践できる力を身につけることを目標とする。							
(到達目標)							
1 子どもの理解を踏まえた社会的養護の基礎的な内容について、具体的に理解する。							
2 施設養護及び家庭養護の実際について理解する。							
3 社会的養護における計画・記録・自己評価の実際について理解する。							
4 社会的養護に関わる相談援助の方法・技術について理解する。							
5 社会的養護における子ども虐待の防止と家庭支援について理解する。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
授業中の私語、携帯電話の使用は禁止します。配布資料は授業でのみ配布します。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	社会的養護における子どもの理解・日常生活支援・治療的支援・自立支援						
2	施設養護の生活特性及び実際						
3	家庭養護の生活特性及び実際						
4	社会的養護における支援の計画と記録及び自己評価						
5	社会的養護に関わる保育の専門性に関わる知識・技術とその実践						
6	社会的養護に関わる相談援助の知識・技術とその実践						
7	社会的養護における家庭支援						
8	社会的養護の課題と展望						
成績評価方法							
レポート試験 80%、提出物 20%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
保育士をめざす人の福祉シリーズ 「新版 保育士を目指す人の社会的養護Ⅱ」		辰巳隆・岡本眞幸		みらい		9784860154943	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
・座学のみならず演習形式を取り入れます。自分自身の意見を積極的に発言し、取り組みましょう。							
・次回の授業範囲について予習し、専門用語の意味等を調べ理解しておきましょう。							
・テキスト及び配布資料を必ず復習し、次回の授業に臨みましょう。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
質問等につきましては、メールで時間等について予め連絡・確認して下さい。							

授業科目名		児童文化				科目コード	E2163
担 当 者		金田 美幸 / 伊東 陽子 / 平田 玉代 / 吉田 路子				履 修 区 分	選択
開 講 年 次	2 年	開 講 期	前期	授 業 回 数	15 回	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標							
(概 要)							
児童文化の歴史的な背景や、知見について学ぶ。児童文化の世界(保育内容・声楽・児童文学・切り絵など)を自ら体感しながら実践的に学びを深めるとともに、子どもに対するよりよい活用方法や援助の方法について理解する。							
(到 達 目 標)							
1. 児童文化に関する概念や歴史について理解する。							
2. 保育実践において活用できる文化にふれる。							
3. 実践方法や技能を身につける。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
授業中の私語は禁止。携帯電話は使用禁止。講師からの指示がない場合は前から詰めて席に着く。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講 義 内 容						
1	児童文化の歴史と概念					金田 美幸	
2	言葉のおもしろさを知る(言葉とあそび)					金田 美幸	
3	児童文学・宮澤賢治の童話の観賞					吉田 路子	
4	切り絵の製作実習					吉田 路子	
5	製作作品を使って読み聞かせの実習					吉田 路子	
6	伝える・表現する事の大切さと発声の方法を理解する。目標とする将来像をイメージして必要な表現方法を考える。①					平田 玉代	
7	〃 ②					平田 玉代	
8	〃 ③					平田 玉代	
9	〃 ④					平田 玉代	
10	〃 ⑤					平田 玉代	
11	〃 ⑥					平田 玉代	
12	絵本と子どもと大人と① 子供の育ちを支える絵本とは					伊東 陽子	
13	絵本と子どもと大人と② 絵本・おはなしを選んでみよう					伊東 陽子	
14	絵本と子どもと大人と③ おはなしを語ってみよう					伊東 陽子	
15	手作りおもちゃを作って遊ぶ					金田 美幸	
成 績 評 価 方 法							
作品・レポート100%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教 科 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBNコード	
ことばと表現力を育む児童文化		川勝泰介編		萌文書林		978-89347-188-8	
参 考 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
・シラバスに従いながら予習、復習(講義をまとめる、わからないことは調べるなど)を行う。							
・講義の後、講義内容の配布した資料を自分の考えも加え、まとめる。							
・適宜、資料を配布します。ファイリングを必ずしてください。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
・担当教員と確認してください。							

授業科目名	保育マネジメント					科目コード	E2164
担当者	伊藤 唯道					履修区分	選択
開講年次	3年・4年	開講期	前期	授業回数	8回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要)							
昨年より新しい保育指針・幼稚園教育要領等での保育が始まりました。今回の改訂では「カリキュラムマネジメント」という概念が示されています。端的に言えば、すべての職員と共に、組織的・計画的に保育活動の質の向上をはかっていくことです。本講義では、保育所運営の実際を学び、その中でどのように保育内容を高めていくのか。またそのようなマネジメントを可能にしていく組織はどのようなものかなどについて学んでいきます。							
(到達目標)							
1. 保育所運営の全体像を理解し、保育士等が組織の一員として、専門性を生かし、保育をどのように構築していくのかを学ぶ。							
2. 保育マネジメントの内容や方法を把握する。							
3. 保育所運営の実際と課題を追求する。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
基本的には、講義形式にて行いますが、内容によっては、グループ討議などを取り入れていきます。発言できる機会も設けるので、積極的に発言してください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	保育をマネジメントするとは ー保育園運営とはー						
2	組織をマネジメントする① ー保育園の組織ー						
3	組織をマネジメントする② ーよりよい組織を構築するためにー						
4	保育内容をマネジメントする① ー園の保育をデザインするー						
5	保育内容をマネジメントする② ー園の保育をデザインするためにー						
6	保育内容をマネジメントする③ ーこども理解を深めるためにー						
7	保育内容をマネジメントする④ ーこども理解を深める園内研修ー						
8	保育所運営の課題と展望						
成績評価方法							
講義でのミニレポート等 40%、期末のレポート 60%で評価する。							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
特に用いない							
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
その都度指示します。							
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
保育所等の運営及び、乳幼児に関する様々なニュースが報じられています。日頃からこのような新聞記事やニュース等に敏感になってください。多くの学びがあると思います。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
基本的にはメール yuido@mx.biwa.ne.jp でお願ひします。必要に応じて、電話、面談等での相談も受け付けます。							